

平成30年版
消 防 年 報

小野市消防本部
令和元年刊行

はじめに

この年報は、平成30年中における小野市消防本部の主な消防事情について収録し、今後の消防執務の参考に資するとともに、本市消防行政を広く一般に紹介し、ご理解いただく一翼になれば幸いと編集したものです。

皆様にご高覧のうえ、小野市消防行政へのご理解を賜り、基礎資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

なお、火災、救急、救助は暦年、その他の必要な資料については、当該表に年月日を記載いたしました。

令和元年7月

小野市消防本部

消防訓

我々消防人は

ゆたかな心たゆまぬ努力を基本として

規律を守り

心身を鍛え

教養を高め

誇りを持って使命を達成しよう

自治体消防制度四十周年記念

昭和六十三年三月七日制定

小野市消防本部

目次

□ 小野市の概要	1
□ 一目統計	2
□ 消防機関配置図	3
□ 消防庁舎の概要	4
□ 小野消防の現況	4
□ 小野市の平均	4
□ 小野市消防本部の組織	5
□ 小野消防の推移	6

【総 務】

□ 予算の内訳・前年度比較	7
□ 消防職員の表彰等状況	7
□ 消防職員年齢別状況	8
□ 消防職員の学校教育状況	9
□ 消防職員の配置状況	10
□ 消防力の現勢	10
□ 消防職員の免許・資格所有状況	11
□ 平成30年度消防施設整備事業	12

【予 防】

□ 消防用設備等設置状況	13
□ 防火対象物の状況	14
□ 月別・地区別建築同意状況	15
□ 用途・工事別建築同意状況	15

□ 各種届出指示状況	16
□ 一般家庭・高齢者（独居） 家庭の防火診断実施状況	16
□ 中高層建築物等状況	16
□ 危険物施設状況	17
□ 許可・完成検査・承認数状況	17
□ 危険物規制事務処理状況	18
□ 危険物施設・少量危険物施設立入検査状況	18
□ 過去5年間の危険物施設数 （完成検査済）状況	19
□ 手数料収入額状況	19
□ 県委譲事務処理状況	19
□ 防火防災組織の状況	20

【消 防】

□ 平成30年火災概要	21 ~ 22
□ 過去10年間の火災概要	23
□ 火災状況前年比較	24
□ 月別火災発生状況	25
□ 時間別火災発生状況・ 曜日別火災発生状況	26
□ 地区別火災発生・損害額状況	27
□ 出火原因別発生状況	28
□ 建物用途別火災発生状況・ 曜日別・月別建物火災発生件数	29

□ 地区別火災発生状況全体図	30
□ 消防水利状況	31
□ 過去10年間の降雨量	31
□ 消防機械器具保有状況	32 ～ 36
□ 消防車両一覧表	37
□ 消防署出動状況	38
□ 小野市火災予防条例に関する届け出状況	38

【救 急】

□ 平成30年救急概要	39
□ 救急出場件数・地区別・ 月別救急概要	39
□ 救急概要・搬送人員状況	40
□ 年齢・性別搬送人員比較	41
□ 救急所要時間状況	42
□ 事故種別でみる地域別 搬送先医療機関の搬送傷病者数	43
□ 急病件数に対する過去5年間の比較	43
□ 医療機関平均交渉回数・平均交渉時間・ 受入不可理由	43

【救 助】

□ 平成30年救助概要	44
□ 救助状況前年比較	45
□ 月別・地区別救助発生状況	45
□ 時間別・曜日別救助発生状況	46

□ 過去10年救助発生状況	47
□ 地区別救助発生状況全体図	48

【指 令】

□ 消防通信系統図	49
□ 119番通報状況	50
□ 119番による口頭指導実施状況	51
□ 情報テレホンサービス利用件数	51
□ 消防無線一覧	52
□ 気象状況	53

【消防団】

□ 消防団組織	54
□ 平成30年度消防団行事	55
□ 消防力の現況	55
□ 消防団員出動状況	56
□ 消防団員の在職年数状況	56
□ 年齢別消防団員数	57
□ 消防団員等公務災害発生状況	58
□ 消防団表彰状況	58
□ 消防自動車の現況	59
□ 小野市消防の沿革	60 ～ 65
□ 消防応援協定の締結状況	66

小野市の概要

小野市は、東播磨地域のほぼ中央に位置し、東経134度56分、北緯34度50分の地点にあります。市の面積は93.84km²で、東西に11.8km、南北に11.2kmの広がりを持ち、東と北は加東市、西は加西市、南は三木市及び加古川市にそれぞれ接しています。

小野市の大部分は平地で、西南端の一部に老年期初期の山地があり、市域の西よりを県下最大の流域を持つ加古川が北から南へ流れ、左岸には河岸段丘が発達しています。臨海部に比べると内陸性であるが、瀬戸内式気候に属し、温暖で暮らしやすい気候であります。

年間降水量は、平均約1,200mmで全国的にみても少ない値となっています。

小野市は、古来から加古川中流域の産業や文化の中心として栄え、鋏、鎌、包丁、剃刀などの家庭刃物や「播州そろばん」などの伝統工芸品を生み出してきました。

この伝統技術は、時代の変遷とともに幾多の改良を重ねながら、今も伝統が息づく工匠の街としての小野の金物や木工工芸品に受け継がれています。

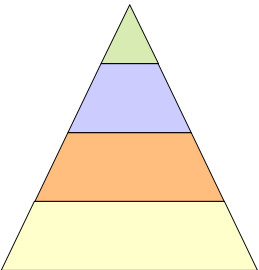
近年、小野市は、中国自動車道や山陽自動車道の進捗にあわせて、都市基盤の整備が一段と進むとともに、先端技術・高度組立産業の導入が図られ、伝統的特産工業と一体化した工場企業群としての工業団地が、その勇姿を現し、東播磨内陸地域における中核的都市として飛翔しようとしています。

一方、小野市内には、恵まれた自然環境と貴重な数多くの文化財が残っていますが、その中で東播磨平野の一角に建てられた極楽山浄土寺は、我が国が誇る文化財の宝庫であり、歴史上・学術上実に重要な価値を持っています。

小野市は、平成30年4月に念願の第3の救急拠点である「消防署北分署」を開設しました。主に小野市の下東条地区一帯、河合地区北部、大部地区一部を管轄し、これにより救急車が小野市全域へ10分以内に到着できるようになり、より迅速な救急活動が可能となりました。



一 目 統 計

	 (平成31年4月1日現在)	 (平成31年4月1日現在)	 (平成31年度)	 (平成31年4月1日現在)
面 積 93.84 k m ²	人 口 48,560人 男性23,774人 女性24,786人	世 帯 数 19,951世帯	予 算 25,500,000千円 【うち消防予算】 716,532千円	署 所 消防本部 1 消防署 1 分 署 2
 (平成31年4月1日現在)	 (平成31年4月1日現在)	 (平成31年4月1日現在)	 (平成30年中)	 (平成30年中)
消防車両 消防車 7台 救急車 4台 その他の車両 9台	消防職員数 定 員 80人 実 員 71人 うち女性 3人	消防団員 定 員 700人 実 員 680人 うち女性 17人	火 災 発生件数 21件 うち建物火災 11件 損害額 150,448千円	救 急 発生件数 2,342件 搬送人員 2,219人 現場まで平均 6.7分
 (平成30年中)	 (平成30年中)	 (平成30年中)	 (平成31年4月1日現在)	 (平成31年4月1日現在)
救 助 発生件数 25件 活動件数 13件 救助人員 16人	その他の災害 発生件数 344件 検 索・危険火排除・ 危険物排除等	消防署への通報・問合せ 119番 2,837件 携帯119 1,448件 その他 3,244件	自主防災組織数 婦人防火クラブ 1 幼年消防クラブ 6 女性消防隊 3	危険物施設数 製造所 12 貯蔵所 172 取扱所 104

消防機関配置図



消防庁舎の概要

庁 舎 名	所 在 地	開署年月日	構 造	建築面積	延 面 積
小野市防災センター 小野市消防本部・消防署	小野市王子町 809番地	平成26年 4月14日	鉄筋コンクリート造 地上3階建	1570.6㎡	3087.3㎡
小野市消防署 南 分 署	小野市池尻町 628番地の161	平成4年 4月1日	鉄筋コンクリート造 地上2階建	510.85㎡	696.35㎡
小野市消防署 北 分 署	小野市古川町 1250番地	平成30年 4月8日	鉄骨造 平屋建	369.02㎡	324㎡

小野消防の現況

(平成31年4月1日現在)

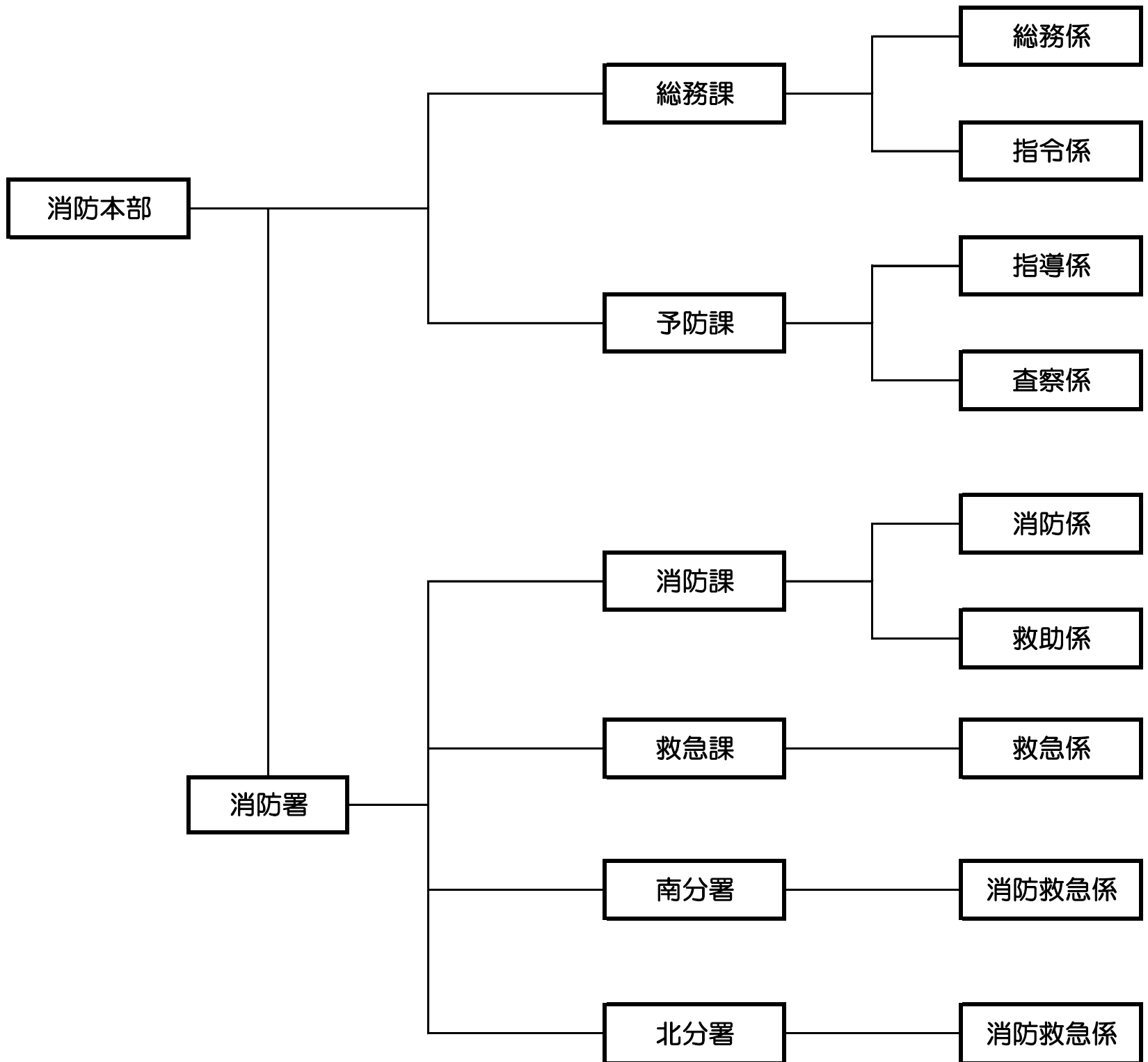
常 備	署 所	消防職員	消防ポンプ車等	35m級はしご車	救助工作車	高規格救急車
	3	71	5	1	1	4
非 常 備	団本部	分団数	消防団員数	消防自動車数	軽四積載車	小型動力ポンプ
	1	6	680	6	49	54

小野市の平均

小野市の人口	48,560人	人口密度	517人/㎢
小野市の世帯数	19,951世帯	1世帯あたりの人口	2.43人
小野市の予算	25,500,000(千円)	市民1人あたり	525,000円
火災発生件数	21件	火災出場	17.4日に1件
救急発生件数	2,342件	救急出場1日あたり	6.4件
救急搬送人員	2,219人	救急車利用	22人に1人

小野市消防本部の組織

平成31年4月1日現在



小野消防の推移

区分 年次	人 口 (人)	世 帯 数 (人)	消 防 職 員 数 (人)	消 防 団 定 員 数 (人)	火 災 件 数 (件)	火 災 損 害 額 (千円)	焼 死 者 数 (人)	救 急 件 数 (件)	搬 送 人 員 数 (人)	備 考
S 4 0	37,159	8,035	17	1,414	46	3,655		26	31	昭和40年4月
S 4 5	38,141	8,767	25	1,144	35	47,741		376	391	消防本部発足
S 5 0	40,494	9,870	31	1,060	25	5,647	1	730	680	
S 5 5	43,686	11,239	33	1,060	44	21,237		775	757	昭和41年12月
S 5 6	44,189	11,493	34	1,060	56	37,550	1	738	719	救急業務開始
S 5 7	44,562	11,643	36	1,060	55	125,784		717	718	
S 5 8	45,026	11,856	36	1,060	64	47,872		819	804	昭和46年6月
S 5 9	45,364	12,015	38	1,044	51	17,571		814	808	消防本部移転
S 6 0	45,684	12,206	39	1,044	63	136,283	1	852	861	
S 6 1	45,870	12,323	39	1,044	64	72,307	6	863	870	平成4年4月
S 6 2	45,948	12,370	39	1,044	62	241,457	3	825	837	南分署開設
S 6 3	45,946	12,463	41	1,044	48	64,978	1	865	873	
H 1	46,083	12,580	42	1,044	35	20,680	1	916	963	平成26年4月
H 2	46,244	12,750	45	1,044	42	77,376	1	958	983	防災センター開設
H 3	46,480	12,957	49	1,044	44	34,744		1,008	1,048	消防本部・消防署移転
H 4	46,885	13,298	51	1,044	31	30,588		1,049	1,084	市北部に救急隊派遣
H 5	47,466	13,709	54	1,044	35	42,928	1	1,008	1,017	
H 6	47,884	14,044	56	1,044	70	22,433		1,032	1,061	平成30年4月
H 7	48,491	14,493	57	1,044	70	141,904	1	1,191	1,254	北分署開設
H 8	48,828	14,775	58	1,044	76	369,276	1	1,250	1,292	
H 9	49,197	15,042	59	1,044	42	51,163	1	1,283	1,335	
H 1 0	49,533	15,377	60	1,044	36	30,758		1,283	1,312	
H 1 1	49,961	15,796	60	874	42	62,609		1,225	1,240	
H 1 2	50,309	16,100	60	874	49	59,588	1	1,370	1,429	
H 1 3	50,383	16,223	60	874	54	76,348	1	1,364	1,435	
H 1 4	50,441	16,441	62	874	36	128,900	1	1,421	1,456	
H 1 5	50,601	16,712	60	874	22	2,297	1	1,453	1,486	
H 1 6	50,653	16,919	62	874	36	73,103	1	1,570	1,599	
H 1 7	50,562	17,111	62	874	40	30,707	3	1,702	1,696	
H 1 8	50,463	17,407	62	874	24	140,682	1	1,734	1,724	
H 1 9	50,415	17,624	63	874	34	30,747		1,725	1,705	
H 2 0	50,390	17,887	64	874	31	622,862	1	1,724	1,692	
H 2 1	50,478	18,212	64	874	21	19,579		1,754	1,678	
H 2 2	50,540	18,460	64	700	19	8,349		1,816	1,727	
H 2 3	50,485	18,656	64	700	29	129,487	1	1,834	1,742	
H 2 4	50,364	18,823	63	700	21	102,297		1,902	1,811	
H 2 5	50,162	19,028	62	700	18	6,291		1,919	1,834	
H 2 6	49,903	19,151	64	700	22	36,228	1	2,108	1,982	
H 2 7	49,495	19,249	65	700	14	55,817	1	2,136	1,986	
H 2 8	49,163	19,332	66	700	20	16,075	3	2,358	2,178	
H 2 9	49,019	19,567	68	700	22	67,501	1	2,260	2,109	
H 3 0	48,808	19,782	69	700	21	650,448	1	2,342	2,219	
H 3 1	48,560	19,951	71	700						

※ 人口・世帯数は、4月1日現在

※ 消防職員数・消防団定員数は、4月1日現在

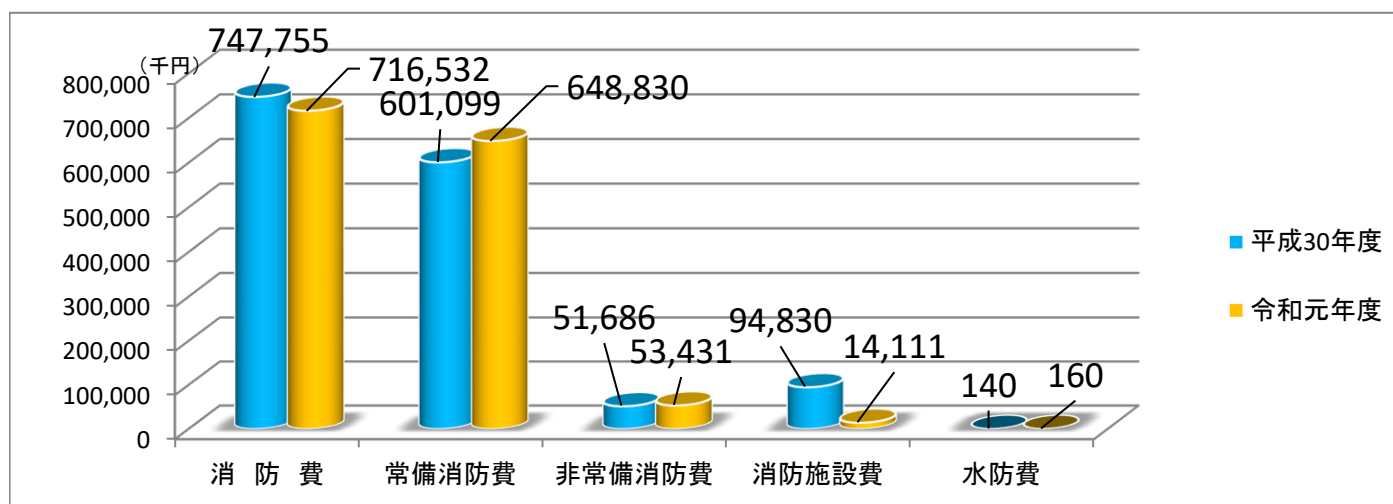
※ 火災件数・損害額・焼死者数・救急件数・搬送人員数は、1月1日から12月31日まで

総務

予算の内訳・前年度比較

(単位: 千円)

区 分 \ 年 度 別	平成30年度	令和元年度	前年度比較	増減率
一般会計	21,300,000	25,500,000	4,200,000	19.7%
消 防 費	747,755	716,532	△ 31,223	-4.2%
常備消防費	601,099	648,830	47,731	7.9%
非常備消防費	51,686	53,431	1,745	3.4%
消防施設費	94,830	14,111	△ 80,719	-85.1%
水防費	140	160	20	14.3%
消防費比率	3.5%	2.8%	-0.7%	



消防職員の表彰等状況

区 分 \ 年 度 別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
消防庁長官表彰	1	1	1	1	1
全国消防長会 (消防特別功労)				1	
全国消防長会 (功労、永年勤続)	2	2		2	1
全国消防協会表彰 (優良消防職員)					
県知事表彰 (功労、永年勤続)	2	2	3	4	5
市長表彰 (功労、永年勤続)	1	1	3	4	4
消防長表彰 (功労、永年勤続)	2	2	3	3	2
署長表彰 (功績)	3	3	6	7	

消防職員年齢別状況

(平成31年4月1日現在)

階級 年齢	小 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	年齢合計
18歳	1						1		18
19歳	0								0
20歳	0								0
21歳	1						1		21
22歳	2						2		44
23歳	3					2	1		69
24歳	2					1	1		48
25歳	1					1			25
26歳	1					1			26
27歳	1				1				27
28歳	3				3				84
29歳	1				1				29
30歳	2				2				60
31歳	0								0
32歳	2				2				64
33歳	2				2				66
34歳	2				2				68
35歳	2				2				70
36歳	1				1				36
37歳	2			2					74
38歳	2			1	1				76
39歳	1			1					39
40歳	1			1					40
41歳	1			1					41
42歳	2			2					84
43歳	1			1					43
44歳	4			4					176
45歳	2			2					90
46歳	3		1	2					138
47歳	4		1	2				1	188
48歳	2		1	1					96
49歳	3		2	1					147
50歳	3		3						150
51歳	0								0
52歳	3		3						156
53歳	3		3						159
54歳	1		1						54
55歳	3		3						165
56歳	0								0
57歳	2		2						114
58歳	0								0
59歳	1	1							59
60歳	0								0
合 計	71	1	20	21	17	5	6	1	2,844
平 均		59.0	51.9	43.2	31.9	24.2	21.7	47.0	40.1

消防職員の学校教育状況

※事務職員除く

種 別			年度別		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	現職員 累計
消防 大学 校	総合教育	新任消防長科									0
	専科教育	幹 部 科			1					1	
		予 防 科								1	
		救 助 科								2	
		救 急 科								1	
	緊急消防援助隊教育科 航空隊コース									1	
兵庫 県消 防学 校	初任教育	初 任 科	2	4	2	2	1	2	70		
	専科教育	災害現場指揮科	1		1		1		3		
		警防科(警防課程含む)				1			19		
		予防査察科(予防課程含む)	1		2		1		15		
		危険物科		1		1			10		
		火災調査科		1	1	1	1		16		
		救急科	救急科(標準課程含む)	2	4	2	1		1	31	
			救急Ⅱ課程							32	
		特殊災害科	1		1	1	1		10		
		救助科	1	1	1	1	1		27		
		幹部教育	初級幹部科	1		2		1		10	
	中級幹部科			1		1			5		
	上級幹部科			1		1			5		
	特別教育	はしご自動車科							11		
		潜水科				4		2	15		
		ポンプ操法講習会	2		4		5		48		
		惨事ストレス研修	1		1	1	1		11		
		山岳救助技術研修	1	1		2	2		13		
	救急救命士養成課程		1	1	1	1	1		12		
	神戸 市消 防学 校	予防査察基礎課程								4	
予防課程								1			
救急Ⅱ課程								4			
救助課程								3			
警防課程								0			
警防小隊長課程								2			
警防指揮課程								3			
火災調査課程								6			
化学災害対応技術課程								1			
機械課程						1		8			
救急救命士養成課程								12			
救急救命士東京研修所								3			
救急救命士九州研修所追加講習								2			
玉掛・クレーン技能講習			1		1	2		28			

消防職員の配置状況

(平成31年4月1日現在)

種 別		階 級	合 計	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	事務職員
条例定数			80	階 級 別 定 員 な し						
職 員 数			71	1	20	21	17	5	6	1
消防本部	消防長	1	1							
	総務課	15			5	4	1		4	1
	予防課	11			5	2	3	1		
消防署	署長	1			1					
	消防課	12			4	1	4	2	1	
	救急課	8			2	4	2			
	南分署	14			2	6	4	1	1	
	北分署	9			1	4	3	1		

消防力の現勢

(平成31年4月1日現在)

区 分		基 準	現 有	過 不 足	充 足 率	
署 所 数		3	3	0	100%	
車 両	消防ポンプ自動車	2	2	0	100%	
	化学消防自動車	1	1	0	100%	
	高規格救急車	3	4	1	133%	
	35m級先端屈折式はしご車	1	1	0	100%	
	救助工作車	1	1	0	100%	
	指揮広報車	1	1	0	100%	
	指令車	1	0	-1	0%	
	小型動力ポンプ付積載車	—	1	—	—	
	水槽車	—	1	—	—	
	貨物車（資機材搬送車）	—	1	—	—	
	軽四積載車	—	2	—	—	
	非常用消防車	1	0	-1	0%	
	非常用救急車	1	0	-1	0%	
	合 計		12	10	-2	83.3%
	人 員	消防隊員	39	12	-27	30.8%
救急隊員		18	21	3	116.7%	
救助隊員		15	5	-10	33.3%	
指揮隊員		9	6	-3	66.7%	
通信員		5	6	1	120.0%	
予防要員		9	11	2	122.2%	
庶務の処理等の要員		5	10	5	200.0%	
その他派遣		—		—	—	
合 計		100	71	-29	71.0%	

消防職員の免許・資格所有状況

※事務職員除く

(平成31年4月1日現在)

階 級		消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
種 別								
自動車 運転 免許	大型特殊一種	1	1	2				4
	大型一種	1	19	20	16			56
	中型一種	1	20	21	17			59
	普通一種	1	20	21	17	5	6	70
	牽引一種			1				1
	自動二輪	1	6	13	9			29
危険物 取扱者	甲種							0
	乙種 1類		2	1				3
	乙種 2類		1	3				4
	乙種 3類		2	3	3			8
	乙種 4類		11	17	17	5	2	52
	乙種 5類		1	3	2			6
	乙種 6類		3	6	8		1	18
	丙種		16	3				19
消防設備士 乙種第6類			3	3	1			7
消防設備士 乙種第7類					1			1
予防技術資格者(防火査察)		1	5	4	7			17
予防技術資格者(消防用設備等)		1	4	2				7
予防技術資格者(危険物)		1	5	5	5	1		17
救急救命士		1	8	13	10	2	1	35
救急科				2	14	3	2	21
救急標準課程				8				8
救急Ⅱ課程		1	20	10				31
特殊無線従事者		1	11					12
第1級特殊無線技士			1					1
第2級特殊無線技士			8	21	17	5	3	54
アマチュア無線技士			5					5
小型船舶操縦士			5	3				8
小型移動式クレーン			14	11	1			26
玉掛技能			14	11	1			26
潜水土			2	11	12	2		27
車両系建設機械運転技能			1	1	1			3
ガス溶接			2	3				5
特定化学物質等作業主任者			4	4				8
防災士		1		1				2

平成30年度消防施設整備事業

整備事業名	場所	数量	備考
防災まちづくり事業 小型動力ポンプ整備事業	復井町 栗生町	2	
小型動力ポンプ積載車整備事業	復井町 栗生町	2	市補助事業（1／2）

予 防

消防用設備等設置状況

(平成31年3月31日現在)

区 分 用 途 別			消 火 設 備						警 報 設 備			避難設備		排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	消 防 用 水	非常電源	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓	動 力 消 防 ポン プ	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 通 報 設 備	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯				専 用 受 電	自 家 発
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2			1		2					2				1	2
	ロ	公会堂又は集会場	10	2					9					10					2
2項	イ	キャバレー、カフェー等																	
	ロ	遊技場又はダンスホール	2						2					2					
	ハ	性風俗店等																	
	ニ	カラオケボックス等	1						1					1					
3項	イ	待合、料理店等																	
	ロ	飲食店	29						6			15	2	32					
4項		百貨店、マーケット、店舗	70	9	1	2	1		30			7		52	1		1	6	7
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	7	2					6	1	3		1	7			1	1	2
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	279	3		1			45	10		8	35	7			3	3	3
6項	イ	病院、診療所又は助産所	33	1	5	1			18	1	12	4	2	32			1	1	5
	ロ	老人福祉施設等	21	4	21				21		21		2	21			3	10	11
	ハ	老人デイサービスセンター等	30	1					20	1	4	2	3	19					
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	5	1					4			1		2				1	1
7項		小、中、高校、大学、各種学校	47	27					43			5	3	13			2	25	
8項		図書館、博物館、美術館	3	2					2	1								2	
9項	イ	公衆蒸気浴場等																	
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1					1			1		2				1	
10項		停車場等																	
11項		神社、寺院、教会等	13						1			3		1					
12項	イ	工場又は作業場	608	117		8	28	1	244			1	1	71			2	14	84
	ロ	映画スタジオ等																	
13項	イ	車庫又は駐車場	47			6			4										
	ロ	飛行機格納庫																	
14項		倉 庫	439	45	1	3	12		126					45			1	3	36
15項		その他の事業場	171	25		10	1		64			30	5	47		1		20	5
16項	イ	複合用途（特 定）	105	3	2				38		2	6	14	57	1		1	3	3
	ロ	複合用途（非特定）	63	2	1		1		8			8	4	4			1	1	1
16項の2		地下街																	
16項の3		準地下街																	
17項		重要文化財等の建築物	3						3										
18項		アーケード																	
合 計			1,990	247	31	31	44	1	698	14	42	91	72	427	2	1	16	20	196

防火対象物の状況

(平成31年3月31日現在)

区 分 用 途 別			防 火 対 象 物 の 総 数	防火管理者						消防用設備		検査実施数	
				甲 種			乙 種			点 検 対 象 物 数	報 告 済 対 象 物 数	予 防 査 察	設 置 検 査
				要 選 任 対 象 物	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 数	要 選 任 対 象 物	届 出 対 象 物 数	消 防 計 画 届 出 済 数				
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2	2	2	2				2	2	2	
	ロ	公会堂又は集会場	10	8	8	8				10	9	9	
2 項	イ	キャバレー、カフェー等											
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2	2	2				2	2	2	
	ハ	性風俗店等											
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1				1	1	1	
3 項	イ	待合、料理店等											
	ロ	飲食店	29	6	5	5	18	16	13	29	11	10	1
4 項		百貨店、マーケット、店舗	70	23	22	22	18	13	10	70	48	16	3
5 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	7	3	2	2				7	5	7	1
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	291	35	35	26				291	129	13	5
6 項	イ	病院、診療所又は助産所	33	14	14	14	1	1	1	33	33	17	2
	ロ	老人短期入所施設等	21	17	17	17				21	21	13	6
	ハ	老人デイサービスセンター等	30	17	17	17	4	4	4	30	30	21	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	5	3	3	3				5	5	5	
7 項		小、中、高校、大学、各種学校	51	15	15	15	2	2	2	47	47	12	2
8 項		図書館、博物館、美術館	3	2	2	2				3	3	2	
9 項	イ	公衆蒸気浴場等											
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1	1	1				2	2	2	
10項		停車場等											
11項		神社、寺院、教会等	13	2	2	2				13	6		
12項	イ	工場又は作業場	611	47	46	41				611	350	36	29
	ロ	映画スタジオ等											
13項	イ	車庫又は駐車場	49							49	37	8	
	ロ	飛行機格納庫											
14項		倉 庫	441	4	4	4				441	212	13	6
15項		その他の事業場	195	35	32	31	3	1	1	171	117	14	5
16項	イ	複合用途（特 定）	112	28	27	24	11	10	8	112	37	12	3
	ロ	複合用途（非特定）	63	6	6	4	1	1	1	63	16	8	2
16項の2		地下街											
16項の3		準地下街											
17項		重要文化財等の建築物	3	1	1					3	2		
18項		アーケード											
合 計			2,044	272	264	243	58	48	40	2,016	1,125	223	65

月別・地区別建築同意状況

(平成30年度)

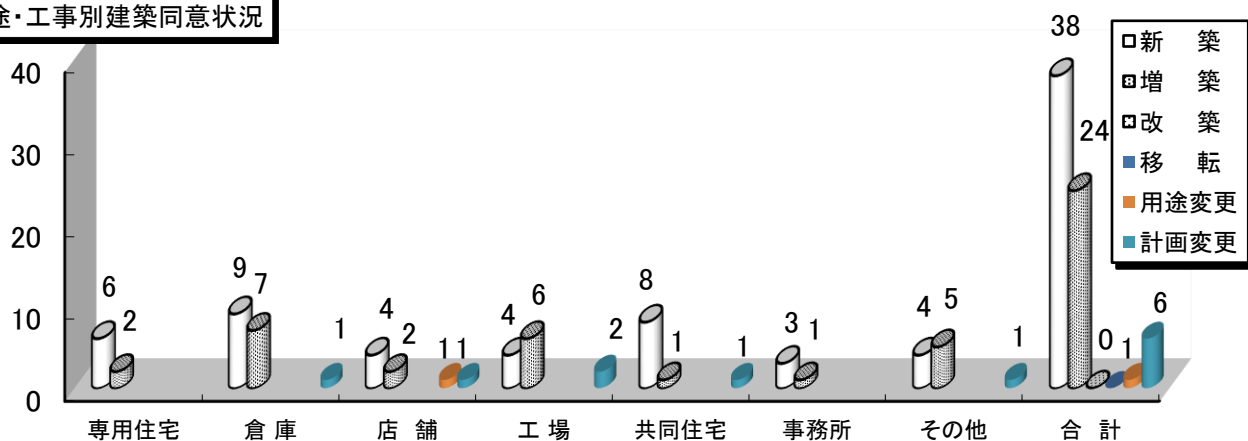
月 別 \ 地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合 計
4 月				1	2		3
5 月	1			1	2		4
6 月	1				2		3
7 月			1	1		2	4
8 月	3		1		1		5
9 月	2			1	1	1	5
10 月	1			1	3	1	6
11 月	3		1	3	2		9
12 月	2			3		1	6
1 月	2	1	1		1	1	6
2 月	2	2	1	2	1	1	9
3 月	5	3		1			9
合 計	22	6	5	14	15	7	69

用途・工事別建築同意状況

(平成30年度)

工事別 \ 用途別	専用住宅	倉庫	店舗	工場	共同住宅	事務所	その他	合 計
新 築	6	9	4	4	8	3	4	38
増 築	2	7	2	6	1	1	5	24
改 築								0
移 転								0
用途変更			1					1
計画変更		1	1	2	1		1	6
合 計	8	17	8	12	10	4	10	69

用途・工事別建築同意状況



各種届出指示状況

(平成30年度)

内 容	計	総 計
防火管理者選任（解任）届	70	1,331
消防計画作成（変更）届	92	
消防訓練計画届	228	
消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届	143	
工事整備対象設備等着工届・工事計画届	98	
防火対象物使用開始届	31	
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書	647	
発電・変電・蓄電池設備届	22	
指示書による指示件数		31
甲種防火管理新規講習課程修了証		44
乙種防火管理講習課程修了証		3
甲種防火管理再講習課程修了証		0

一般家庭・高齢者（独居）家庭の防火診断実施状況

(平成31年3月31日現在)

区 分 \ 地区別	小野	河合	来住	市場	大部	下東条	合計
一般家庭実施件数							0
累 計	692	757	273	697	249	364	3,032
高齢者（独居）家庭実施件数		17					17
累 計	630	383	272	250	219	351	2,105
総診断数	1,322	1,140	545	947	468	715	5,137

中高層建築物等状況

(平成31年3月31日現在)

階 数	地 階	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	合計
棟 数	45	220	57	40	4	4	0	2	1	373

危険物施設状況

(平成31年3月31日現在)

指定数量別 製造所等の区分		5 倍 以下	5 倍 を超え 10 倍 以下	10 倍 を超え 50 倍 以下	50 倍 を超え 100 倍 以下	100 倍 を超え 150 倍 以下	150 倍 を超え 200 倍 以下	200 倍 を超え 1000 倍 以下	1000 倍 を超える	計
製 造 所		1	5	1	4			1		12
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	22	10	13	4	4	2	1	3	59
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	8	6	22	3	1		2		42
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	1						3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	17	11	11	1					40
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	15		2	2					19
	屋 外 貯 蔵 所	2	3	4						9
取扱所	給 油 取 扱 所	10	3	15	3	3	3	7		44
	第 1 種 販 売 取 扱 所									0
	第 2 種 販 売 取 扱 所									0
	移 送 取 扱 所									0
	一 般 取 扱 所	33	14	10	2			1		60
計		109	53	79	19	8	5	12	3	288

許可・完成検査・承認数状況

(平成30年度)

許可等の区分 製造所等の区分		許 可		完成検査		タンク 検 査	廃止及び 転 出
		設 置	変 更	設 置	変 更		
製 造 所		1	9	2	10		
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所		2		3		
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1		1		
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所						
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1	2		2		
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所						
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所						
	屋 外 貯 蔵 所						
取扱所	給 油 取 扱 所		4		4		
	第 1 種 販 売 取 扱 所						
	第 2 種 販 売 取 扱 所						
	移 送 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所		13		12		
計		3	31	2	32	0	0

仮 使 用 承 認 数	仮貯蔵・仮取扱承認数	合 計
29		29

危険物規制事務処理状況

(平成30年度)

申 請 ・ 届 出 ・ 報 告 等 項 目	件 数
予防規程制定・変更認可申請	6
危険物製造所等軽微変更届	90
危険物製造所等譲渡引渡届	2
危険物製造所等危険物品名・数量変更届	10
危険物製造所等廃止届	5
危険物製造所等休止届	0
危険物製造所等危険作業届	2
危険物製造所等定期点検結果報告	129
危険物施設保安員選任届	0
危険物保安監督者選任届	29
危険物取扱作業従事者届	102
危険物製造所等消防設備関係届	8
少量危険物貯蔵取扱い届	4
少量危険物廃止届	3
指定可燃物貯蔵取扱い届	1
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等貯蔵取扱い届	5
炉・かまど・ボイラー等設置届	29
改善計画書	19
LPG設備工事届	3
その他	20
合 計	467

危険物施設立入検査状況

(平成30年度)

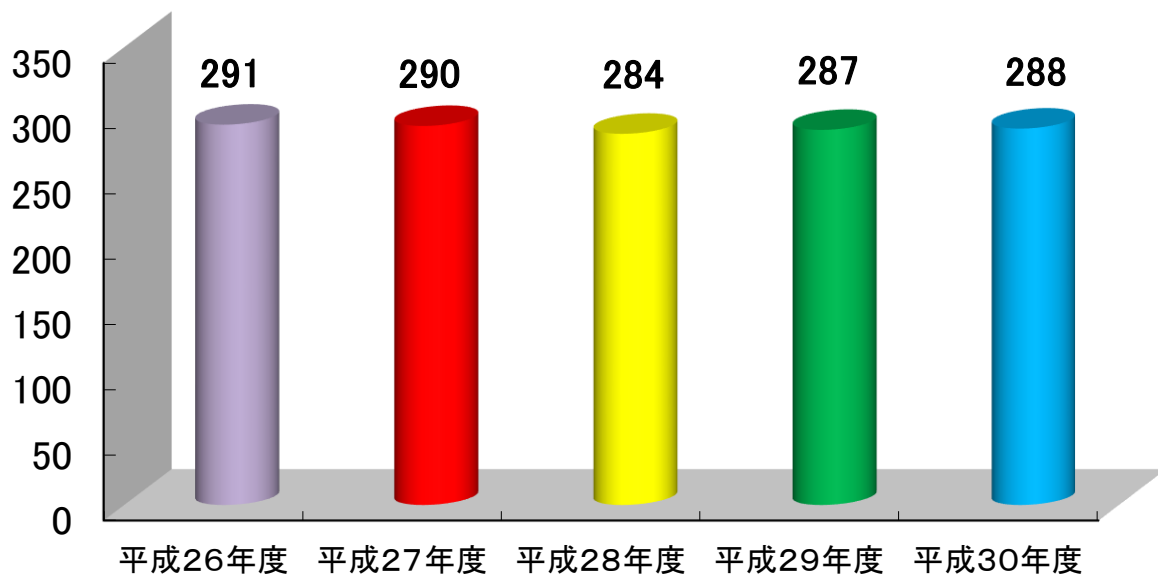
製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			合 計
	屋 貯 蔵 内 所	屋 貯 蔵 外 タ ン ク	屋 貯 蔵 内 タ ン ク	地 貯 蔵 下 タ ン ク	簡 易 貯 蔵 タ ン ク	移 動 貯 蔵 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計	
4	13	8	3	7	0	27	1	59	26	60	86	149

少量危険物施設立入検査状況

(平成30年度)

少量危険物施設（少量危険物移動タンク含む）	31
-----------------------	----

過去5年間の危険物施設数（完成検査済）状況



年度別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	291	290	284	287	288

手数料収入額状況

（平成30年度）

（単位：千円）

許可手数料		完成検査 手数料	タンク検査 手数料		仮使用 手数料	仮貯蔵 仮取扱 手数料	合 計
設 置	変 更		水 張	圧 力			
59	761	424	0	0	157	0	1,401

県委譲事務処理状況

（平成30年度）

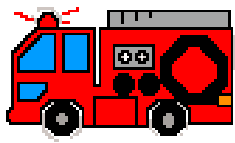
液化石油ガス関係		高圧ガス関係		火薬類関係	
設備工事届	立入検査	立入検査	行政措置	立入検査	行政措置
3	3	0	0	0	0

防火防災組織の状況

(平成31年4月1日現在)

団 体 名		人 員	結成年月日	活 動 状 況
小野市幼年婦人防火委員会 (会長 近都 登志人)		6	昭和60年4月1日	・ 防火防災組織の育成指導
婦人防火クラブ	小野市婦人防火クラブ		昭和60年4月1日	・ 防火街頭宣伝活動 ・ 家庭防火診断の推進 ・ その他の防火広報活動
幼年消防クラブ	北辰保育園幼年消防クラブ	129	昭和60年7月1日	・ 避難訓練の実施 ・ 防火教室の開催 ・ 防火絵画展開催 ・ 消防大会への参加
	来住保育所幼年消防クラブ	159	昭和60年12月1日	
	小野保育所幼年消防クラブ	235	昭和61年2月1日	
	下東条西保育所幼年消防クラブ	102	昭和62年11月1日	
	育ヶ丘保育園幼年消防クラブ	102	昭和63年7月1日	
	栗生こども園幼年消防クラブ	119	平成10年2月28日	
女性消防隊	育ヶ丘女性消防隊 (隊長 宮下 絵美)	15	昭和54年4月1日	・ 消防機器の点検・訓練 ・ 防火広報活動の実施 ・ 初期消火活動 ・ 防火・救急教室の開催 ・ 自衛消防競技会への参加 ・ 消防大会への参加
	高山町女性消防隊 (隊長 小倉 ひとみ)	5	昭和60年4月1日	
	小野ニュータウン女性消防隊 (隊長 藤田 久仁子)	15	平成4年9月1日	
その他	小 野 市 防 火 協 会 (会長 宮岡 督修)	243	昭和48年4月1日	・ 防火広報誌の発行 ・ 各種防火広報活動 ・ 各種防火研修会の開催
	小野匠工業会防災連絡委員会 (委員長 宮岡 祐士)	33	平成6年4月1日	・ 消火、防火訓練の実施 ・ 防火、救急講習会の実施 ・ 防火広報活動の実施 ・ 自衛消防競技会への参加

消防



平成30年 火災概要



1 火災件数と火災種別

平成30年中の火災件数は21件で、昨年の22件より1件減少しています。

火災種別ごとにみると、最も多く発生しているのが、建物火災の11件(52%)で、次いで
その他火災が6件(29%)、林野火災3件(14%)、車両火災1件(5%)となっています。

2 建物火災焼損程度

建物火災を焼損程度別に見ると、全焼が6件(55%)、半焼が2件(18%)、部分焼が2件
(18%)、ぼや1件(9%)となっています。

3 出火原因

出火原因で最も多いのは、「火入れ(焼却火等)」による火災が3件発生し、次いで、「電
気機器」、「たき火」による火災が各2件、「たばこ」、「こんろ」、「焼却炉」、「排気管」、「電気
装置」、「配線器具」、「取灰」による火災が各1件発生しています。

なお、「その他」が2件、「不明」が5件となっています。

4 火災による死傷者

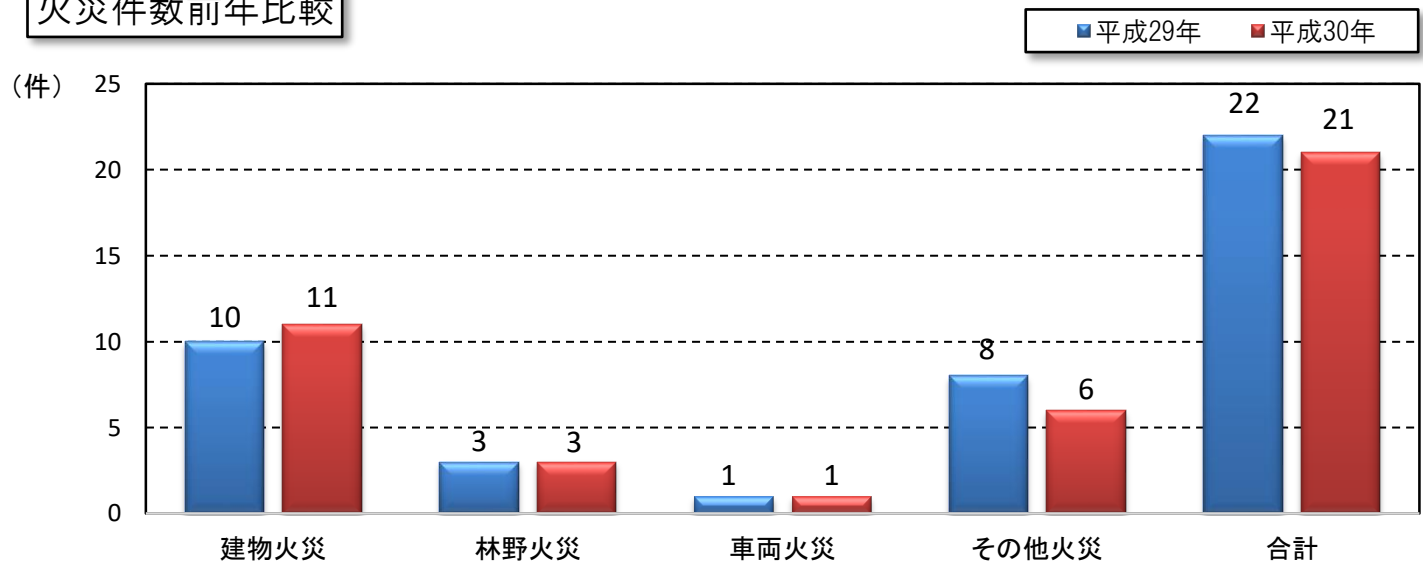
平成30年中の火災による死傷者数は死者が1名、負傷者が18名発生しています。
(昨年死者1名、負傷者2名)

5 焼損面積

焼損面積については、建物焼損床面積が2,681㎡(昨年800㎡)、建物焼損表面積は0
㎡(昨年10㎡)となっています。

林野火災の焼損面積は、174a(昨年29a)となっています。

火災件数前年比較

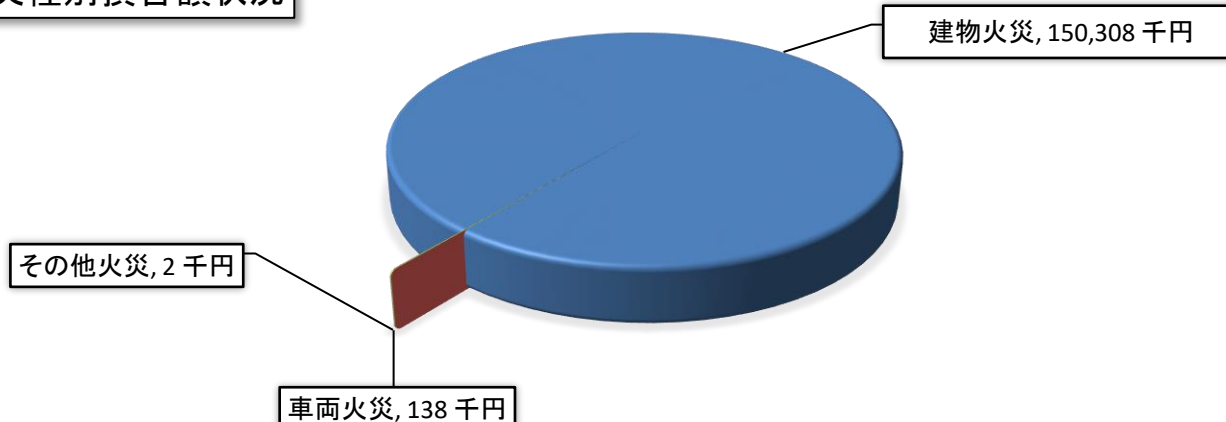


6 火災損害状況

平成30年の火災総損害額は、150,448千円で、昨年(67,501千円)に比べ82,947千円増加しています。

火災種別で見ると、建物火災が150,308千円(昨年67,087千円)、車両火災が138千円(昨年348千円)、その他火災が2千円(昨年66千円)となっています。

火災種別損害額状況



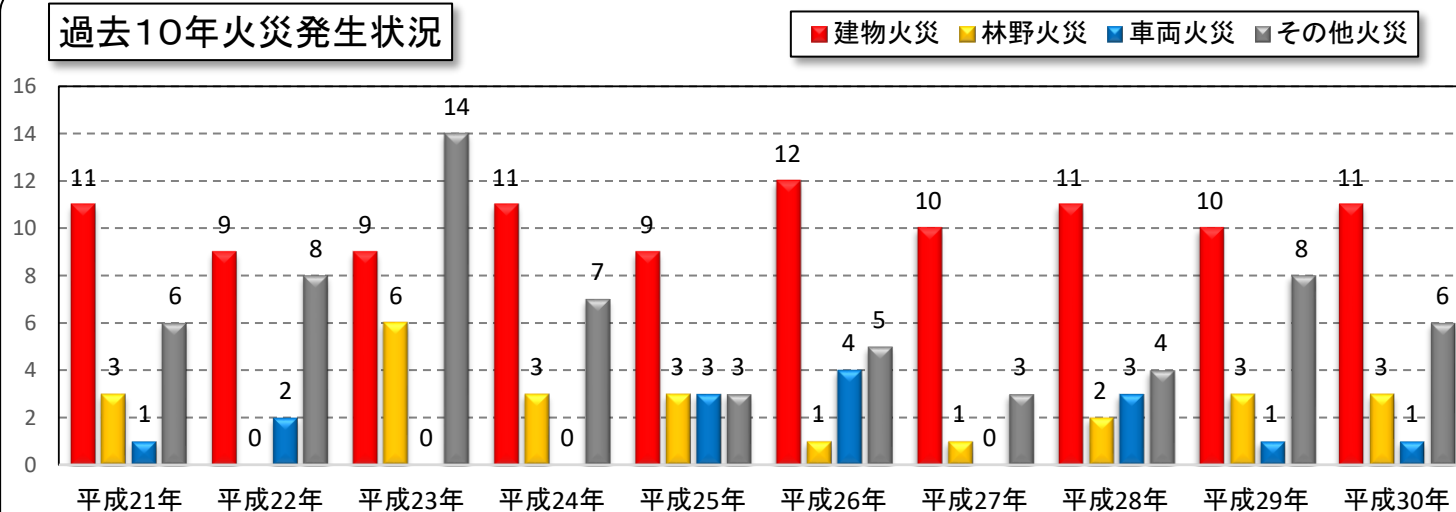
7 地区別火災概要

火災件数を地区別で見ると、小野地区で9件発生し、次いで市場地区が7件、来住地区及び大部地区が各2件、下東条地区で1件発生しましたが、河合地区では発生していません。

地区別に火災種別の発生状況をみると、小野地区では、建物火災が4件、林野火災及び車両火災が各1件、その他火災が3件発生しています。

市場地区では建物火災が4件、林野火災が1件、その他火災が2件発生し、来住地区では、建物火災が2件発生、大部地区では建物火災及び林野火災が各1件、下東条地区ではその他火災が1件発生しています。

過去10年火災発生状況



過去10年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(件)

	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成21年	11	3	1	6	21
平成22年	9	0	2	8	19
平成23年	9	6	0	14	29
平成24年	11	3	0	7	21
平成25年	9	3	3	3	18
平成26年	12	1	4	5	22
平成27年	10	1	0	3	14
平成28年	11	2	3	4	20
平成29年	10	3	1	8	22
平成30年	11	3	1	6	21

火災種別損害額の推移

(千円)

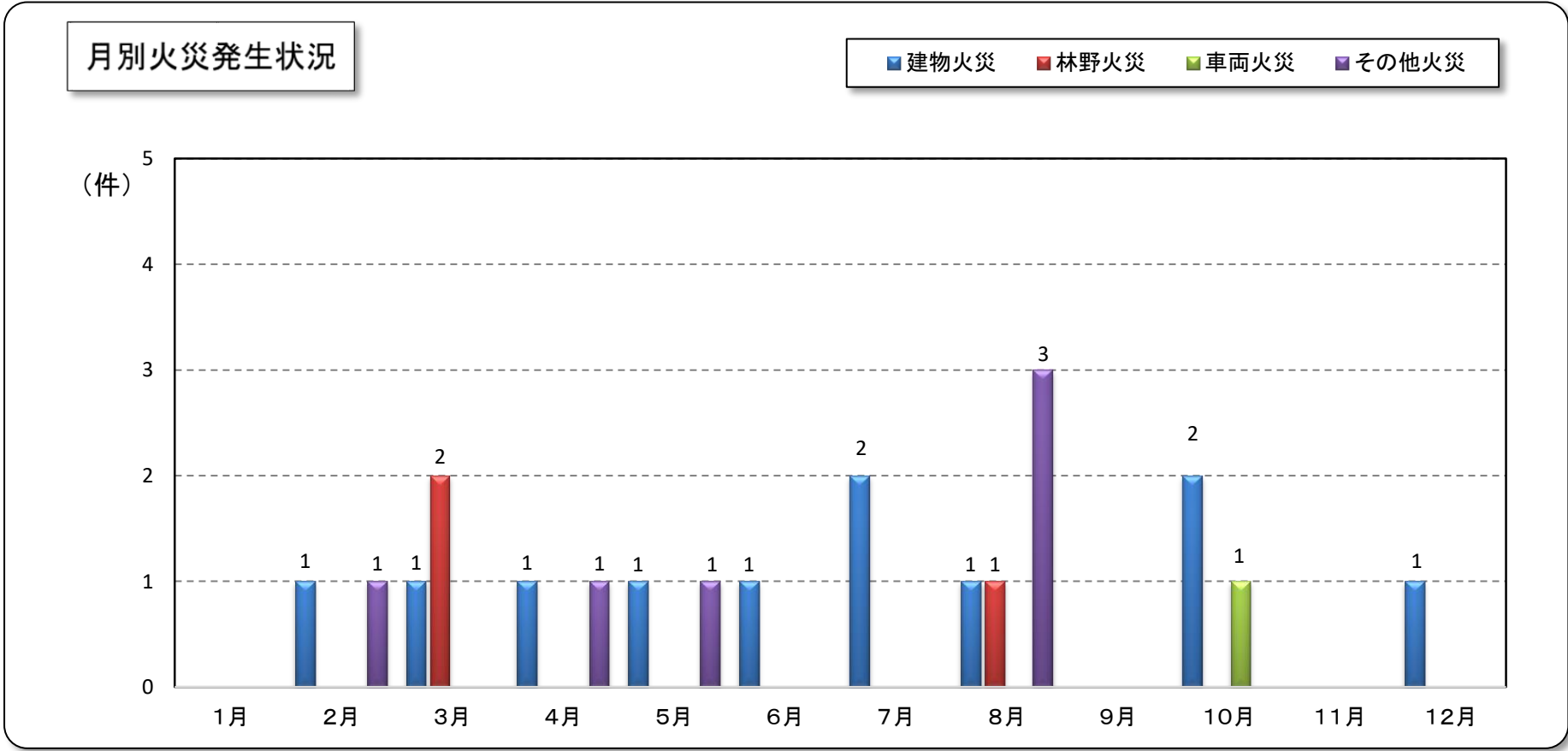
	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	合 計
平成21年	18,579	0	1,000	0	19,579
平成22年	8,087	0	209	53	8,349
平成23年	126,951	29	0	2,507	129,487
平成24年	102,296	0	0	1	102,297
平成25年	5,788	0	503	0	6,291
平成26年	35,976	0	211	41	36,228
平成27年	55,385	0	0	0	55,385
平成28年	15,251	0	810	14	16,075
平成29年	67,087	0	348	66	67,501
平成30年	150,308	0	138	2	150,448

火災状況前年比較

年 別 区 分			平成30年				平成29年			前年比較			
			本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計
火災 件数 (件)	合 計		5	11	5	21	15	7	22	-10	4	5	-1
	建物火災		5	5	1	11	7	3	10	-2	2	1	1
	林野火災		0	2	1	3	2	1	3	-2	1	1	0
	車両火災		0	0	1	1	1	0	1	-1	0	1	0
	その他火災		0	4	2	6	5	3	8	-5	1	2	-2
損害額 (千円)	合 計		32182	80087	38179	150448	52849	14652	67501	-20667	65435	38179	82947
	建物火災		32182	80087	38039	150308	52442	14645	67087	-20260	65442	38039	83221
	林野火災		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両火災		0	0	138	138	348	0	348	-348	0	138	-210
	その他火災		0	0	2	2	59	7	66	-59	-7	2	-64
焼損面積	建 物	焼損合計(㎡)	263	1741	677	2681	627	183	810	-364	1558	677	1871
		焼損床面積(㎡)	263	1741	677	2681	619	181	800	-356	1560	677	1881
		焼損表面積(㎡)	0	0	0	0	8	2	10	-8	-2	0	-10
	林 野 (a)		0	173	1	174	8	21	29	-8	152	1	145
焼損棟数(棟)			7	5	1	13	9	4	13	-2	1	1	0
り災世帯数(世帯)			6	2	1	9	7	3	10	-1	-1	1	-1
り災人員(人)			11	8	3	22	12	11	23	-1	-3	3	-1
焼損車両数(台)			0	0	1	1	1	8	9	-1	-8	1	-8
負傷者(人)			2	16	0	18	2	0	2	0	16	0	16
死 者(人)			0	0	1	1	0	1	1	0	-1	1	0
出動人員	消防職員(人)		93	210	71	374	209	87	296	-116	123	71	78
	消防団員(人)		60	159	33	252	182	52	234	-122	107	33	18
	合 計(人)		153	369	104	626	391	139	530	-238	230	104	96

月別火災発生状況

月 別 区 分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災 件数 (件)	合 計		0	2	3	2	2	1	2	5	0	3	0	1	21
	建物火災		0	1	1	1	1	1	2	1	0	2	0	1	11
	林野火災		0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	車両火災		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	その他火災		0	1	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	6
損害額 (千円)	合 計		0	10,184	15,632	26,582	5,693	853	38,327	19,002	0	33,788	0	387	150,448
	建物火災		0	10,184	15,632	26,582	5,691	853	38,327	19,002	0	33,650	0	387	150,308
	林野火災		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車両火災		0	0	0	0	0	0	0	0	0	138	0	0	138
	その他火災		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
焼損面積	建 物	焼損合計(㎡)	0	45	124	754	82	55	678	643	0	289	0	11	2,681
		焼損床面積(㎡)	0	45	124	754	82	55	678	643	0	289	0	11	2,681
		焼損表面積(㎡)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	林 野 (a)		0	0	23	0	0	0	0	151	0	0	0	0	174
焼損棟数(棟)			0	2	1	1	2	1	2	1	0	2	0	1	13
り災世帯数(世帯)			0	2	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	9
り災人員(人)			0	6	1	0	1	0	4	0	0	8	0	2	22
焼損車両数(台)			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
負傷者(人)			0	1	1	0	0	0	0	0	0	16	0	0	18
死 者(人)			0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
出動人員	消防職員(人)		0	20	46	45	38	17	42	75	0	76	0	15	374
	消防団員(人)		0	9	31	27	30	0	26	74	0	52	0	3	252
	合 計(人)		0	29	77	72	68	17	68	149	0	128	0	18	626



時間別火災発生状況

(件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
													建物	林野	車両	その他	
0時～1時																	0
1時～2時					1								1				1
2時～3時																	0
3時～4時																	0
4時～5時																	0
5時～6時																	0
6時～7時																	0
7時～8時																	0
8時～9時																	0
9時～10時																	0
10時～11時		1		1			1					1	3			1	4
11時～12時				1				1		1			1			2	3
12時～13時			2					1					1	2			3
13時～14時								1		1				1	1		2
14時～15時																	0
15時～16時			1		1								1			1	2
16時～17時																	0
17時～18時																	0
18時～19時						1							1				1
19時～20時		1						2					1			2	3
20時～21時																	0
21時～22時										1			1				1
22時～23時																	0
23時～24時							1						1				1
不 明																	0
合 計	0	2	3	2	2	1	2	5	0	3	0	1	11	3	1	6	21

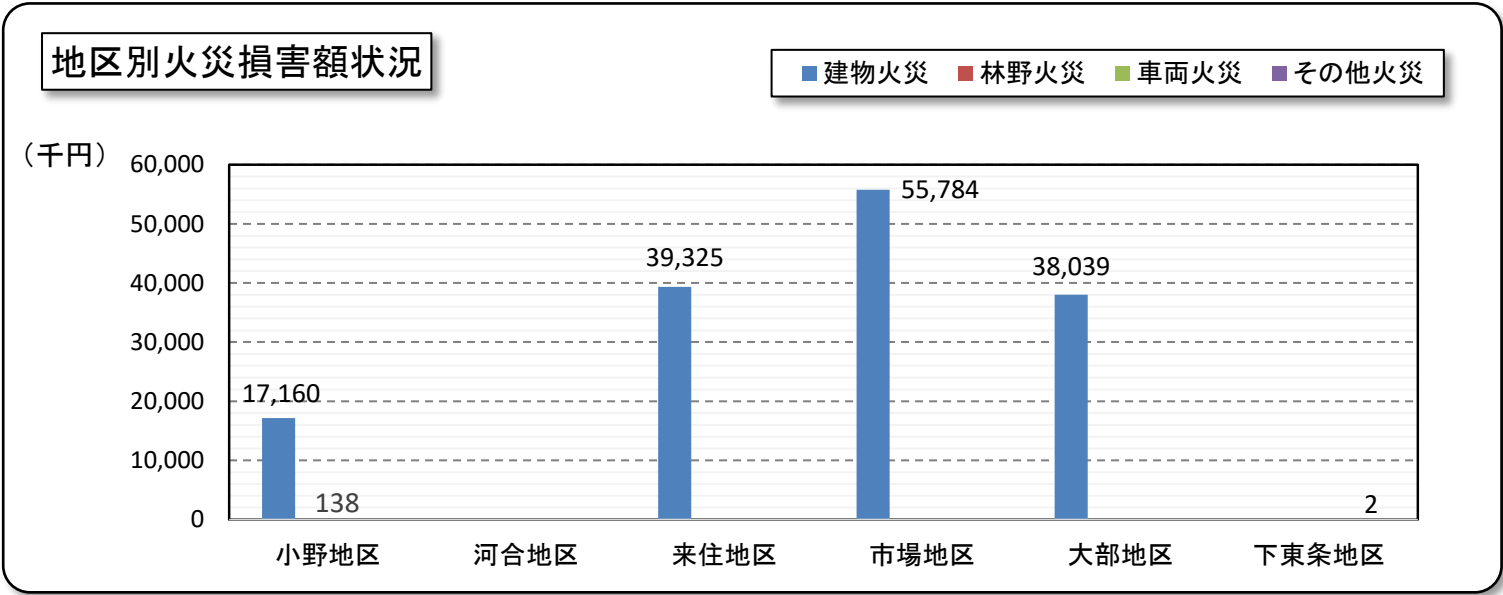
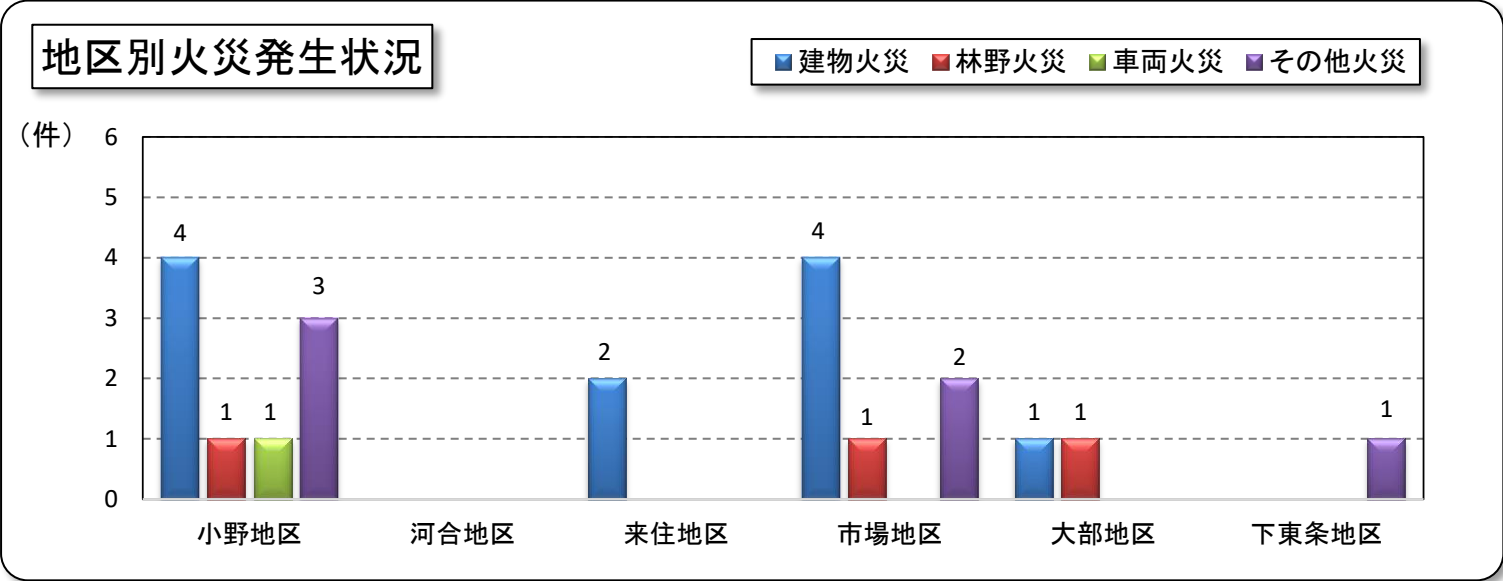
曜日別火災発生状況

(件)

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別				合計
													建物	林野	車両	その他	
日曜日						1		1					1	1			2
月曜日							1			2			2		1		3
火曜日				1				2		1		1	3			2	5
水曜日		1														1	1
木曜日			2				1	1					3	1			4
金曜日																	0
土曜日		1	1	1	2			1					2	1		3	6
不 明																	0
合 計	0	2	3	2	2	1	2	5	0	3	0	1	11	3	1	6	21

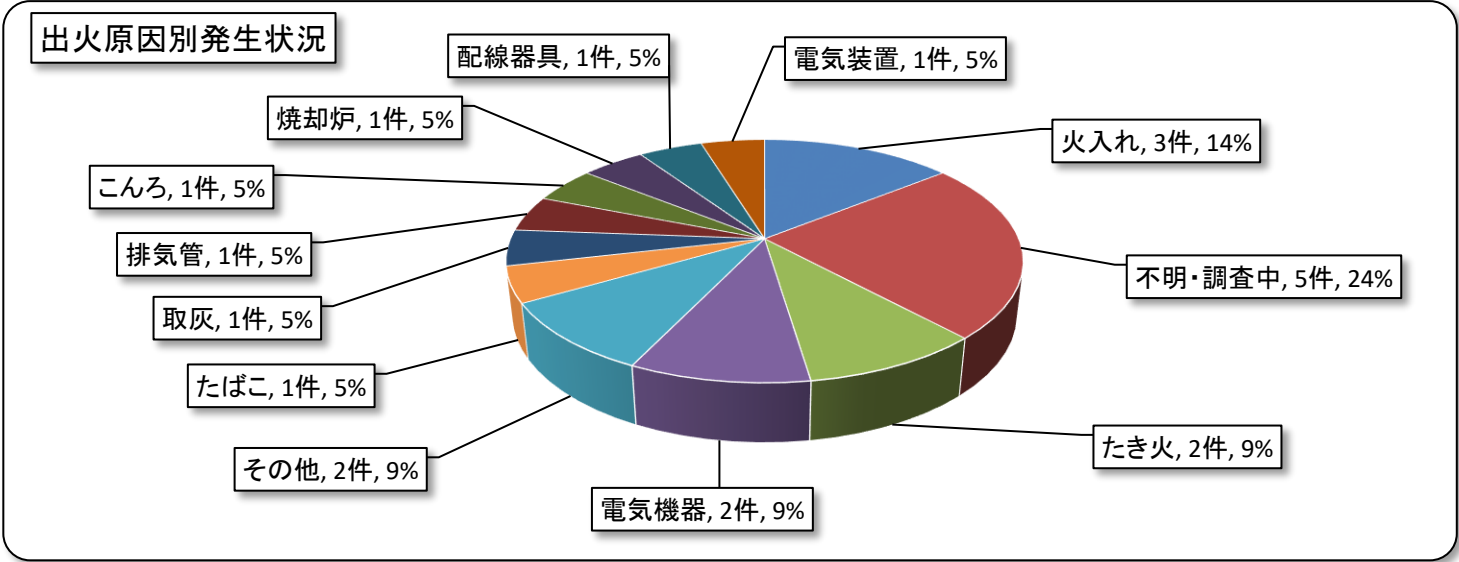
地区別火災発生状況

種 別 \ 地区別	小野地区	河合地区	来住地区	市場地区	大部地区	下東条地区	合 計
建物火災(件)	4	0	2	4	1	0	11
損害額(千円)	17,160	0	39,325	55,784	38,039	0	150,308
林野火災(件)	1	0	0	1	1	0	3
損害額(千円)	0	0	0	0	0	0	0
車両火災(件)	1	0	0	0	0	0	1
損害額(千円)	138	0	0	0	0	0	138
その他火災(件)	3	0	0	2	0	1	6
損害額(千円)	0	0	0	0	0	2	2
火災件数合計(件)	9	0	2	7	2	1	21
損害額合計(千円)	17,298	0	39,325	55,784	38,039	2	150,448



出火原因別発生状況

区分 原因	火災件数(件)					損害額 (千円)	焼損面積			負傷者 (人)	死者 (人)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 (a)		
たばこ	1				1						
こんろ	1	1				288	1				
かまど	0										
風呂かまど	0										
炉	0										
焼却炉	1	1				19,002	643		150		
ストーブ	0										
こたつ	0										
ボイラー	0										
煙突・煙道	0										
排気管	1			1		138					
電気機器	2	2				6,078	93				
電気装置	1	1				38,039	677				
電灯・電話等の配線	0										
交通機関内配線	0										
内燃機関	0										
配線器具	1	1				10,184	45			1	
火あそび	0										
マッチ・ライター	0										
たき火	2		1		1				1		1
溶接機・切断機	0										
灯火	0										
衝突の火花	0										
取灰	1				1	2					
火入れ	3	1	1		1	853	55		1		
放火	0										
放火の疑い	0										
その他	2	1			1	16				10	
不明・調査中	5	3	1		1	75,848	1167		22	7	
合計	21	11	3	1	6	150,448	2681	0	174	18	1

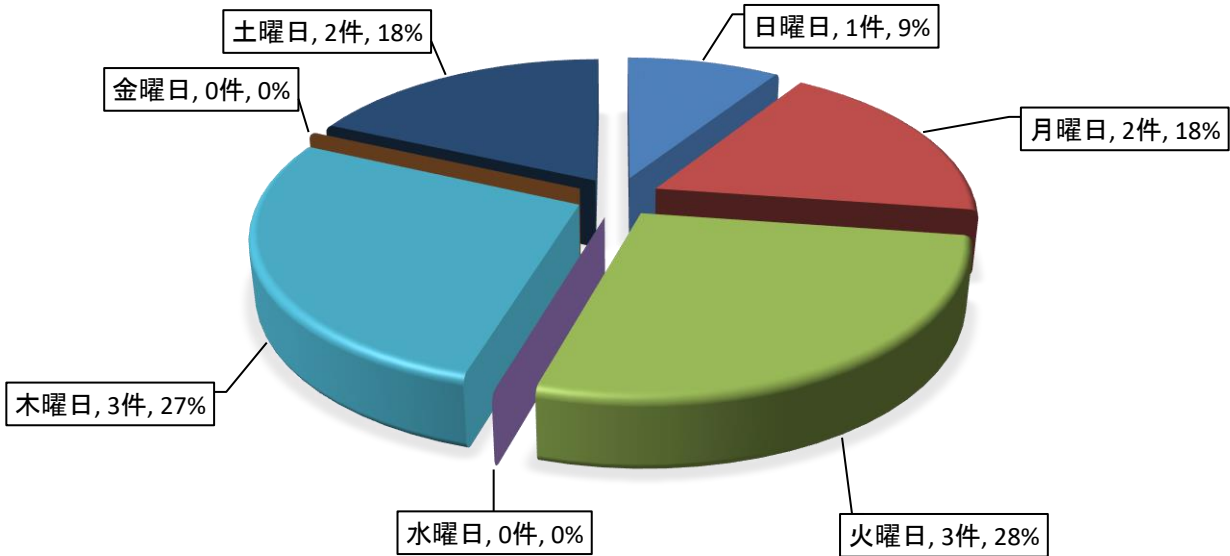


建物用途別火災発生状況

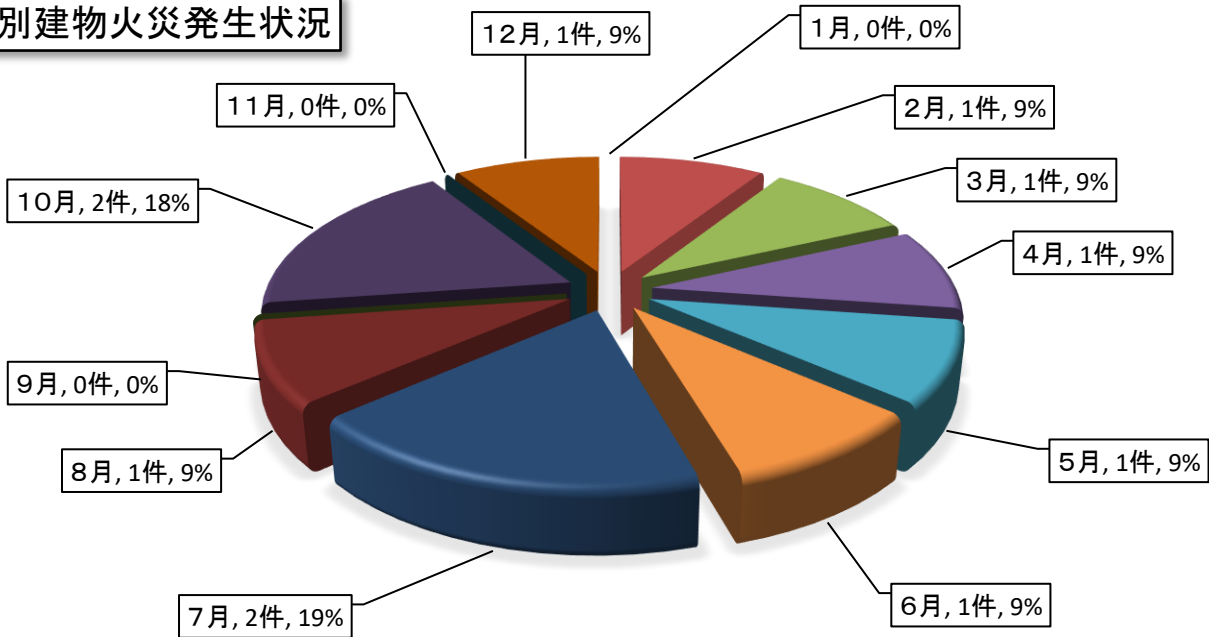
用 途 別		一般住宅	共同住宅	倉 庫	工場・作業場	合 計
発生件数(件)		4	2	2	3	11
火災損害額 (千円)		69,546	675	27,435	52,652	150,308
焼損面積	床面積(㎡)	928	12	809	932	2,681
	表面積(㎡)	0	0	0	0	0

曜日別・月別建物火災発生件数

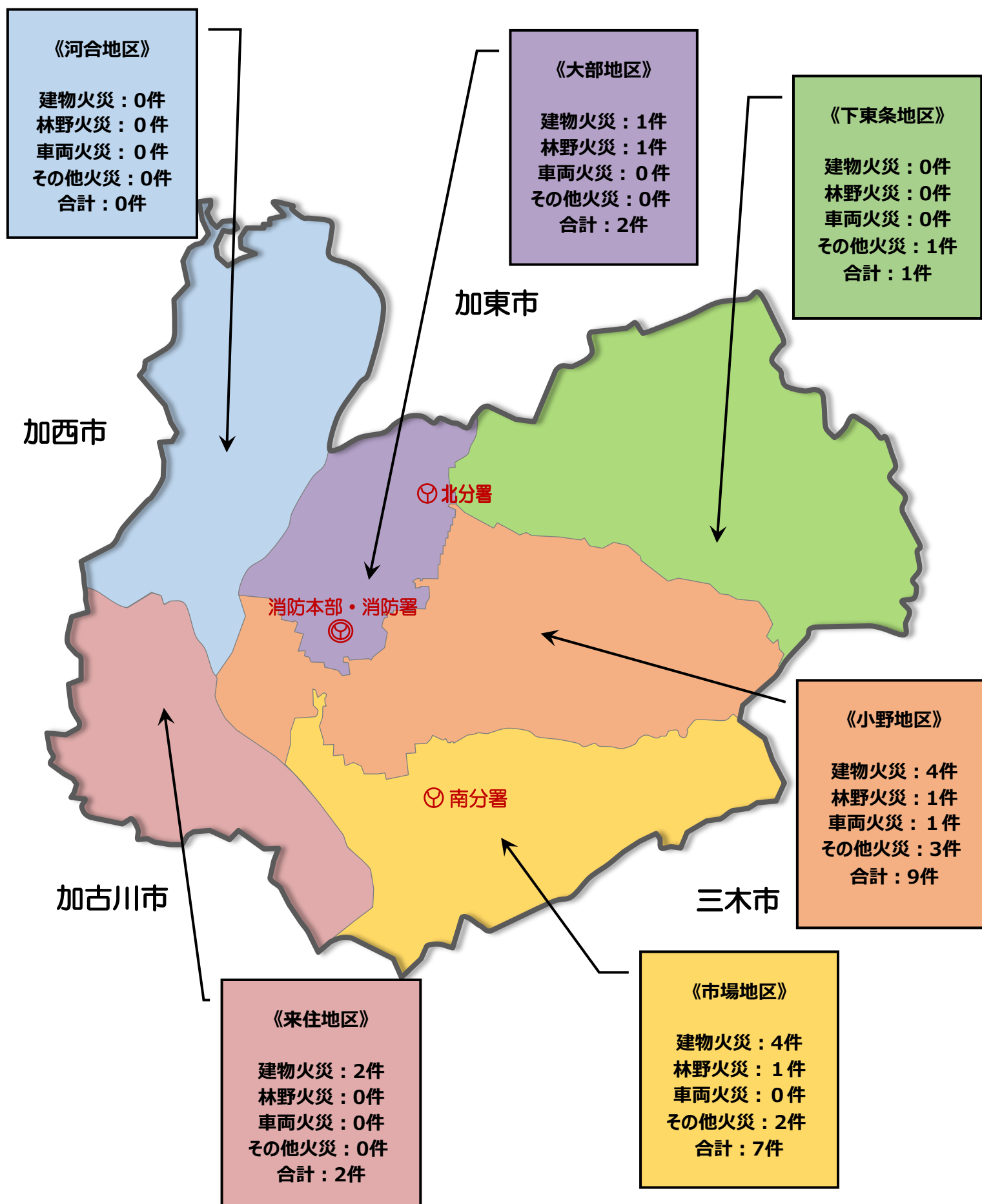
曜日別建物火災発生件数



月別建物火災発生状況



地区別火災発生状況全体図



消防水利状況

基準水利 (平成31年3月31日現在)

防火水槽	消火栓	合計
493	1,330	1,823

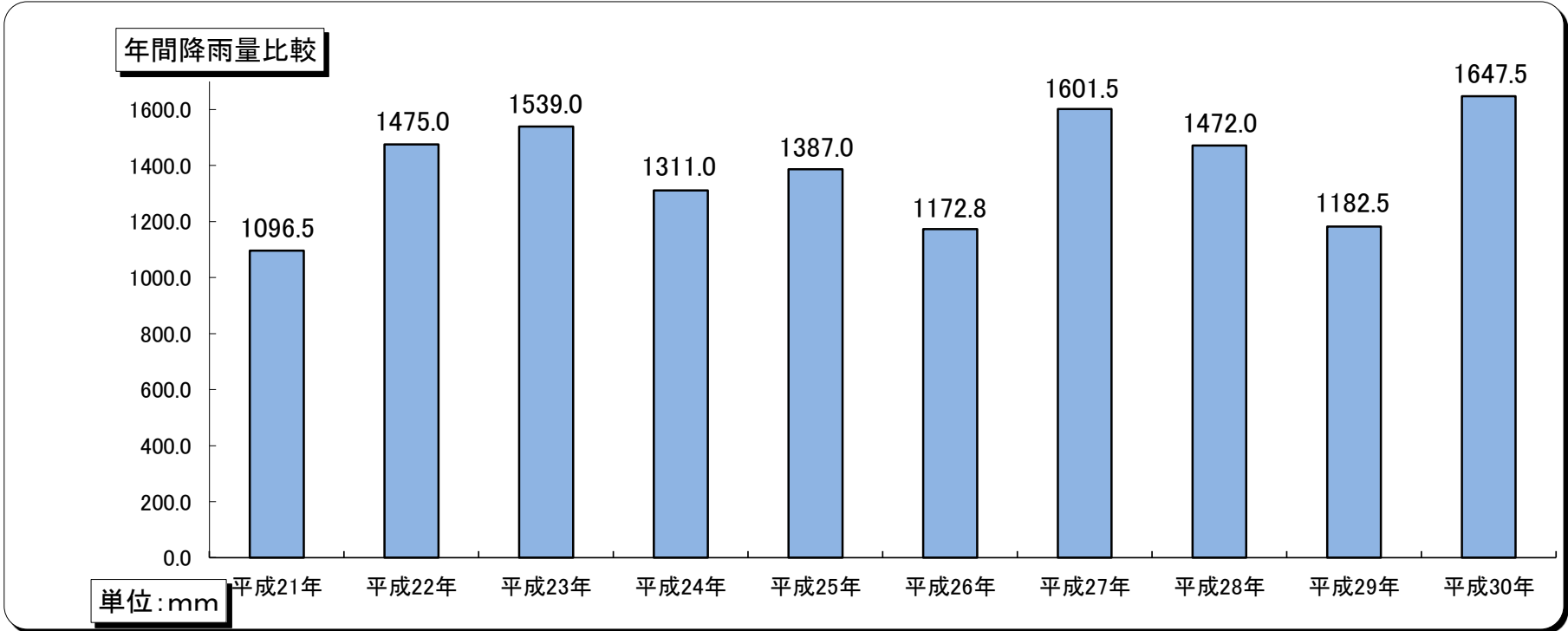
過去10年間の降雨量

(単位:mm)

月別 年別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計	年間平均
平成21年	33.0	132.5	112.0	66.5	51.0	77.0	183.5	140.5	54.0	84.5	144.5	47.5	1,096.5	91.4
平成22年	24.0	113.0	149.0	210.0	172.0	270.5	156.5	34.5	126.5	143.0	11.0	65.0	1,475.0	122.9
平成23年	3.5	67.5	24.5	89.0	309.0	99.0	110.0	55.5	500.5	183.0	86.5	11.0	1,539.0	128.3
平成24年	27.0	80.5	141.5	118.0	37.5	229.5	216.0	53.0	145.0	77.0	91.5	94.5	1,311.0	109.3
平成25年	40.0	63.0	43.5	68.5	50.5	185.0	99.5	158.5	365.5	170.0	64.0	79.0	1,387.0	115.6
平成26年	28.5	40.0	135.5	74.8	79.0	61.0	73.0	306.5	48.0	190.0	60.0	76.5	1,172.8	97.7
平成27年	97.5	22.0	123.5	107.5	85.0	156.0	335.5	193.5	172.0	46.5	139.0	123.5	1,601.5	133.5
平成28年	46.5	72.0	71.5	160.5	108.5	257.5	102.5	86.0	357.0	53.5	68.5	88.0	1,472.0	122.7
平成29年	27.0	37.5	38.0	125.0	57.5	146.0	75.0	75.0	142.5	399.0	32.0	28.0	1,182.5	98.5
平成30年	39.0	32.0	180.5	92.5	169.5	168.0	366.5	125.5	332.0	54.0	9.5	68.5	1,647.5	137.3

は各年の最高降雨月を示す。

は各年の最少降雨月を示す。



消防機械器具保有状況

(平成31年3月31日現在)
No. 1

品 名		区 分	平成31 年	平成30 年	本 署	南分署	北分署	備 考
放水器具	65mmホース		150	144	90	60	0	
	50mmホース		174	192	122	52	0	
	40mmホース		97	112	71	26	0	
	ホースカー		5	5	2	3	0	
	ホース背負い器		13	11	9	4	0	
	ホースバック		24	23	16	8	0	
	普通筒先		4	2	4	0	0	
	無反動筒先65mm		6	7	3	3	0	
	無反動筒先50mm		16	20	9	7	0	
	プロジェクトガン40mm		10	9	8	2	0	
	クアドラフォグノズル		14	13	11	3	0	
	槍管そう		2	2	1	1	0	
	ロータリーノズル		2	1	2	0	0	
	ストレートノズル		6	7	3	3	0	
	放水砲		1	1	0	1	0	
	放水銃		2	2	1	1	0	
	分岐管(65→65)		5	5	2	3	0	
	// (65→40)		2	5	1	1	0	
	// (50→50)		10	7	6	4	0	
	// (65→50)		2	2	2	0	0	
	// (65・50マルチ)		6	7	4	2	0	
	集水器(65→65)		5	6	3	2	0	
	スタンドパイプ		6	10	3	3	0	
	ストップバルブ(65)		9	13	6	3	0	
	ストップバルブ(50)		7	8	5	2	0	
	差込式雄媒介		2	2	2	0	0	
	媒介(雄×雄)65-65		15	17	9	6	0	
	// (雄×雄)50-50		3	3	3	0	0	
	// (雌×雌)65-65		14	18	9	5	0	
	// (雌×雌)50-50		5	5	5	0	0	
	// (雌×雄)65-50		25	27	11	14	0	
	// (雌×雄)65-40		16	17	7	9	0	
	// (雌×雄)50-40		15	14	7	8	0	
	// (雌×雄)50-65		10	12	7	3	0	
	L型アダプタ		3	0	3	0	0	
	吸管結合中継金具		6	5	2	4	0	
	ロープ式吸管結合金具		5	7	2	3	0	
	消火栓キー		4	3	2	2	0	
	防火水槽キー		5	6	3	2	0	
	消火栓ハンドル		4	11	1	2	1	
	丸型消火栓ハンドル		9	13	4	5	0	

品 名		平成31年	平成30年	本 署	南分署	北分署	備 考
放水器具	吸管スパナ	20	23	12	8	0	
	ちりよけ籠	9	11	5	4	0	
	ディスクストレーナー	2	2	2	0	0	
	ストレーナー	17	19	8	9	0	
	まくら木	13	17	7	6	0	
	ラインプロポーションナー	9	9	5	4	0	
	低発泡ノズル	8	9	5	3	0	
	簡易発泡ノズル	1	1	0	1	0	
	中発泡器一式	2	2	2	0	0	
	高発泡器一式	3	3	1	2	0	
	排煙型高発泡装置	1	1	0	1	0	
	エアフォーム	5,860	5,860	40	5,820	0	
	アルコフォーム	80	80	40	40	0	
	A火災用泡原液	201	201	201	0	0	
	B火災用泡原液	226	226	226	0	0	
	ターボポンプ	1	1	1	0	0	
	可搬式動力ポンプ（B-3級）	2	3	0	2	0	
	可搬式動力ポンプ（B-2級）	1	1	1	0	0	
	可搬式動力ポンプ（C-1級）	3	3	1	2	0	
	高圧ポンプ	0	1	0	0	0	
	背負い式消火水のう	33	33	21	12	0	
	ウォーターチャージャー	3	3	1	2	0	
	ホースブリッジ	24	26	15	9	0	
	ホース応急バンド	29	30	10	19	0	
照明器具	投光器（三脚付）	9	9	7	2	0	
	水中投光器	18	17	13	5	0	
	信号器付灯光器用発電機	1	1	1	0	0	
	信号器付投光器三脚	2	2	2	0	0	
	信号器付投光器	2	2	2	0	0	
	合図灯	41	37	25	12	4	
	発電機	7	7	5	2	0	
	LEDライト	20	20	16	3	1	
	日光ライト	10	16	8	1	1	
	コードリール	17	20	11	5	1	
作業器具	とび口	23	23	20	3	0	
	バール	15	19	8	6	1	
	斧	4	4	3	1	0	
	剣先スコップ	6	5	4	2	0	
	かけや	4	4	3	1	0	
	鉄ハンマー	5	5	4	1	0	
	万能斧	19	27	11	7	1	
	ボルトクリッパー	9	10	5	3	1	
	パイプレンチ	3	3	3	0	0	
	防火用具一式	3	2	2	1	0	

品 名		平成31年	平成30年	本 署	南分署	北分署	備 考
作業器具	鋸	2	3	2	0	0	
	ナタ	3	2	2	1	0	
	カマ	3	2	3	0	0	
	電気ドリル	1	2	1	0	0	
	アーク溶接機	1	1	0	1	0	
	ガス溶断器	2	2	1	1	0	
	グラインダー	0	2	0	0	0	
	ディスクグラインダー	2	2	1	1	0	
	ガレーシジャッキ	3	3	1	1	1	
	充電機	4	4	1	2	1	
	コンプレッサー	2	3	0	1	1	
	チェーンブロック	1	1	0	1	0	
	整備工具	4	4	2	1	1	
	万力	1	2	1	0	0	
	脚立	11	12	6	3	2	
	緊急用防災器具	1	1	1	0	0	
一般救助器具	鉤付はしご	5	9	4	1	0	
	二連梯子	0	0	0	0	0	
	三連梯子	6	6	4	2	0	
	ワイヤー梯子	1	1	1	0	0	
	空気式救助マット	1	1	1	0	0	
	シットハーネス	13	13	13	0	0	
	エバックハーネス	1	1	1	0	0	
	サバイバースリング	2	2	2	0	0	
	バスケット担架	4	4	3	1	0	
	吊り下げベルト	2	2	2	0	0	
	縛帯	1	1	1	0	0	
	簡易縛帯	3	3	2	1	0	
	平担架	3	3	2	1	0	
	スケッドストレッチャー	1	1	1	0	0	
	エッジローラー	2	2	2	0	0	
	エッジプロテクター	1	1	1	0	0	
	エイト環	5	5	3	2	0	
	マンホール救助器具	0	0	0	0	0	
	ベルトスリング	16	16	16	0	0	
	ステップチョーク	2	2	2	0	0	
	ウェッジ	8	8	8	0	0	
	ロックブロック	6	6	6	0	0	
	ジャッキ敷板	12	13	12	0	0	
	アリゾナポーテックス	1	1	1	0	0	
	電動コンビツール	1	1	1	0	0	
	油圧ホース 5m	4	4	4	0	0	
	張力計	3	3	3	0	0	

品 名		平成31年	平成30年	本 署	南分署	北分署	備 考
重量物排除器具	チルホール式	5	4	5	0	0	
	ポートパワー	1	1	1	0	0	
	プランジャーラム	1	1	1	0	0	
	スプレッダー	2	2	2	0	0	
	ハンドポンプ	1	1	1	0	0	
	リフトバック	5	5	5	0	0	
	ゴージャック	4	4	4	0	0	
	ラムサポート	1	1	1	0	0	
	エンジン式油圧ポンプ	2	2	2	0	0	
	ホースリール	1	1	1	0	0	
切断器具	エンジンカッター	5	5	4	1	0	
	チェーンソー	6	6	4	2	0	
	アークエアー	1	1	1	0	0	
	油圧カッター	2	2	2	0	0	
	油圧ミニカッター	1	1	1	0	0	
	ペダルカッター	0	0	0	0	0	
	充電式電動レシプロソー	1	1	1	0	0	
	フットポンプ	0	0	0	0	0	
	空気鋸	1	1	1	0	0	
	電動ソー	1	1	1	0	0	
破壊器具	救助はさみ	5	6	3	0	2	
	削岩機	2	2	2	0	0	
	ストライカー	2	2	1	1	0	
	ハンマードリル	0	1	0	0	0	
	電動ハンマードリル	2	2	2	0	0	
	エンジン式ハンマードリル	0	1	0	0	0	
	ウインドポンチ	6	6	4	1	1	
測定器具	火災原因調査用品	5	9	1	4	0	
	熱画像直視装置	4	2	2	1	1	
	非接触温度計	1	1	1	0	0	
	可燃性ガス測定器	2	2	1	1	0	
	有毒ガス測定器	2	2	2	0	0	
	放射能測定器	1	1	1	0	0	
	放射線量計	5	5	5	0	0	
保安器具	検電器	2	2	2	0	0	
	空気呼吸器	30	31	21	5	4	
	酸素呼吸器	10	10	5	5	0	
	酸素呼吸器用ボンベ	22	22	13	9	0	
	簡易呼吸器	2	2	2	0	0	
	テンペストブロアー	2	2	1	1	0	
	送排風機	1	1	1	0	0	
	耐電服	3	4	3	0	0	
	耐電ブーツ	4	4	3	1	0	

品 名		平成31年	平成30年	本 署	南分署	北分署	備 考
保安器具	耐電手袋	16	16	12	3	1	
	夜光チョッキ (LED)	44	37	24	13	7	
	エアバックカバー	4	5	2	1	1	
	安全帯	28	27	22	6	0	
	携帯警報器	14	14	10	4	0	
	耐熱服	9	7	7	2	0	
	防毒服	0	5	0	0	0	
	化学防護服	8	8	8	0	0	
	放射線防護服	2	2	2	0	0	
	防毒マスク	23	23	14	6	3	
水難器具	救命用ボート	3	4	2	1	0	
	船外機	3	3	2	1	0	
	救命浮輪	5	7	2	3	0	
	スローバック	6	6	4	1	1	
	救命胴衣	115	112	80	33	2	
	救命索発射銃	2	2	1	1	0	
	レスキューMAX	1	1	1	0	0	
	ファイバースコープ	1	2	1	0	0	
	ウエットスーツ・3点セット	17	17	17	0	0	
	ドライスーツ	7	4	7	0	0	
	BCジャケット・レギュレーター	10	10	10	0	0	
	ジャックナイフ	8	8	8	0	0	
	メタリコンタンク	12	12	12	0	0	
	魚群探知器	1	1	1	0	0	
その他の器具	山岳救助資機材一式	1	1	1	0	0	
	誘導避難確認セット	1	1	1	0	0	
	B対応セット	18	18	18	0	0	
	応急処置用セット	1	0	1	0	0	
	緩降機	1	2	1	0	0	
	ロールグリス	1	1	1	0	0	
	エスケープデックシステム	5	5	5	0	0	
	火花遮断シート	2	2	2	0	0	
	防水シート	5	4	5	0	0	
	ロープ緩降機	0	0	0	0	0	
	ホース洗浄器	2	2	1	1	0	
	矢印表示板	7	5	5	2	0	
	携帯拡声器	10	10	10	0	0	
	折り畳み式コーン	11	11	8	2	1	
	ブースターケーブル	6	5	4	1	1	
	布水槽	1	3	0	1	0	
	オイルフェンス	5	5	3	2	0	
	油吸着マット (枚)	155	399	29	126	0	
	訓練用マット	1	7	0	1	0	
	訓練用ネット	0	1	0	0	0	

消防車両一覧表

(平成31年3月31日現在)

種 別		車 名	型 式	年式	排気量 (ℓ)	出力 (PS)	総重量 (Kg)	ポンプ 性 能	消防無線 (呼出名称)	購入年月日
消 防 本 部 (消 防 署)	化学車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H29	6.40	220	11,370	A-2級	おのしょう1	平成29年3月
	タンク車 (水Ⅰ-A型)	日野	BDG-GX7JGWA改	H20	6.40	220	9,540	A-2級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう2	平成20年2月
	ポンプ 積載車	日産	PKG-SZ5F24	H23	2.95	110	3,610	小型ポンプ B-2級積載	おのしょう3	平成23年9月
	先端屈折式 はしご付消防自動車	日野	QDG-PR1APEF	H28	8.86	380	20,000		おのしょう4	平成28年4月
	救助工作車 (Ⅱ型)	日野	SDG-GX7JGAA改	H27	6.40	220	11,230		おのしょう5	平成27年2月
	資機材搬送車	いすゞ	PB-NPS81AR	H16	4.77	130	5,545		おのしょう21	平成16年12月
	指揮広報車	トヨタ	KD-KZH116G	H10	2.98	130	2,570		おのしょう22	平成10年7月
	査察車	スズキ	DBA-MH23S	H23	0.65	54	1,030		おのしょう23	平成23年5月
	軽広報車	ダイハツ	LE-S320V	H19	0.65	45	1,360		おのしょう24	平成19年10月
	軽四資機材 積載車	三菱	GBD-U62T	H25	0.65	48	1,250		おのしょう25	平成25年7月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H29	2.69	151	3,195		おのしょう90	平成29年3月
高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H19	2.69	151	3,235		おのしょう91	平成19年2月	
南 分 署	タンク車 (水Ⅱ型)	日野	PK-FE8JGFA改	H17	7.68	235	10,720	A-1級 小型ポンプ C-1級積載	おのしょう30	平成17年1月
	水槽車	日野	QDG-FR1APEA	H28	8.86	380	21,905	A-2級	おのしょう31	平成28年9月
	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H24	2.69	151	3,215		おのしょう93	平成24年3月
北 分 署	高規格救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	H22	2.69	151	3,205		おのしょう92	平成22年2月

消防署出動状況

平成30年中

出動種別 区分	火災	救急業務	救助業務	風水害の災害	演習訓練	広報・訓練指導	警防調査	特別警戒	捜索	その他	ういちたらずら等誤報・誤認	合計
出動回数	21	2,342	25	45	1	265	142	5	3	299	2	3,150
前年回数	22	2,260	43	30	2	448	129	8	0	185	1	3,127
出動延人員	374	7,116	234	146	22	633	341	12	20	896	20	9,814
前年延人員	296	6,988	381	93	47	795	293	16	0	854	14	9,763

火災出動回数は、事後聞知件数を含む。

小野市火災予防条例に関する届け出状況

平成30年中

① 火災とまぎらわしい煙又は火炎を発する恐れのある行為

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	55	13	4	8	4	6	13	6	6	7	10	17	149

② 煙火（がん具用煙火を除く）の打ち上げ又は仕掛け

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	1	3	1	0	1	0	0	0	6

③ 劇場等以外の建築物その他の工作物における劇場、映画その他の開催

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 水道の断水又は減水

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑤ 消防隊の通行その他消火活動に支障をおよぼす恐れのある道路工事

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	11	8	4	5	7	7	7	10	5	10	14	8	96

⑥ 祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の者の集合する催しに際して露店等を開設する場合

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
届出件数	0	1	0	0	0	4	2	3	1	4	1	1	17

救 急

平成30年 救急概要

平成30年中の救急出場件数は2,342件、搬送人員は2,219人で、昨年と比較すると、出場件数では82件増加、搬送人員では110人増加しており、市民の約22人に1人が救急車を利用したことになります。

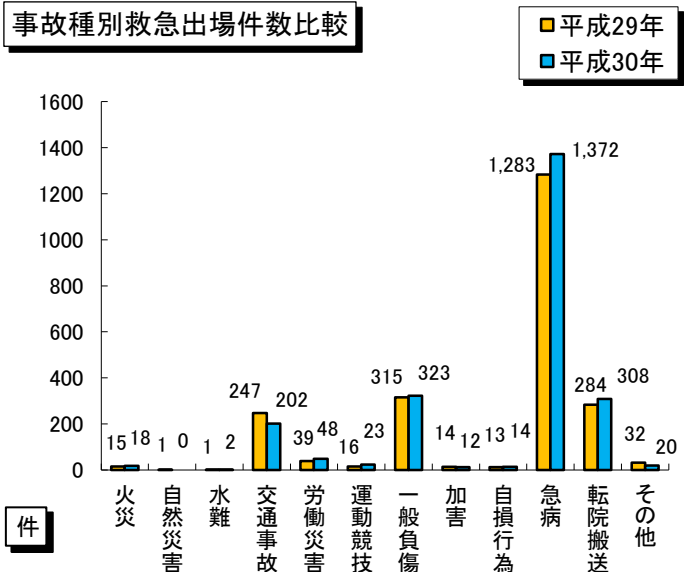
また、一日の平均出場件数は約6.4件となり、小野市内の救急車の平均現場到着時間は、119番入電からの通報時間も含めて平均で約6.7分となっています。

救急出場件数

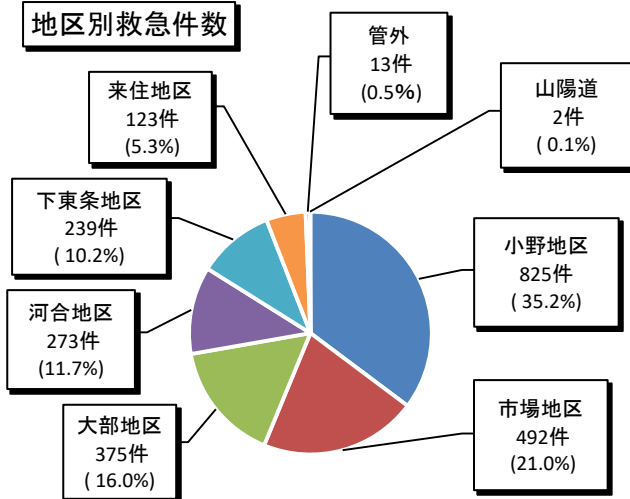
平成30年中、2,342件の救急出場件数の事故種別による内訳は、急病が1,372件と半数以上を占め、全体の約59%となります。次いで、一般負傷の323件（約14%）、転院搬送の308件（約13%）、交通事故の202件（約9%）となっています。

昨年より増加しているのは、急病89件、転院搬送24件、労働災害9件、一般負傷8件、運動競技7件、火災3件、水難及び自損行為1件で、逆に減少しているのが、交通事故45件、その他12件、加害2件、自然災害1件です。

事故種別救急出場件数比較



地区別救急件数

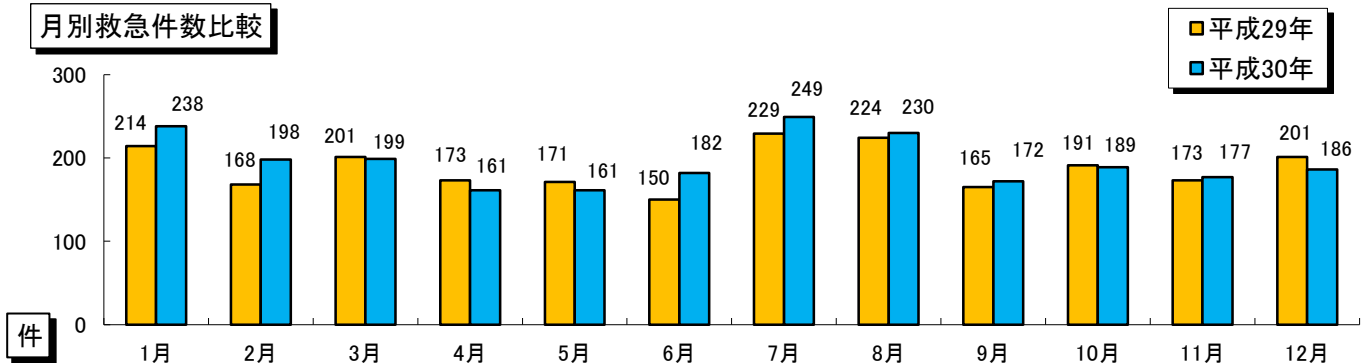


地区別救急概要

救急出場件数を地区別にみると、小野地区が825件で全体の35%を占め、次いで市場地区が492件、大部地区が375件、河合地区が273件、下東条地区が239件、来住地区が123件、その他（山陽道・管外）が15件となっています。

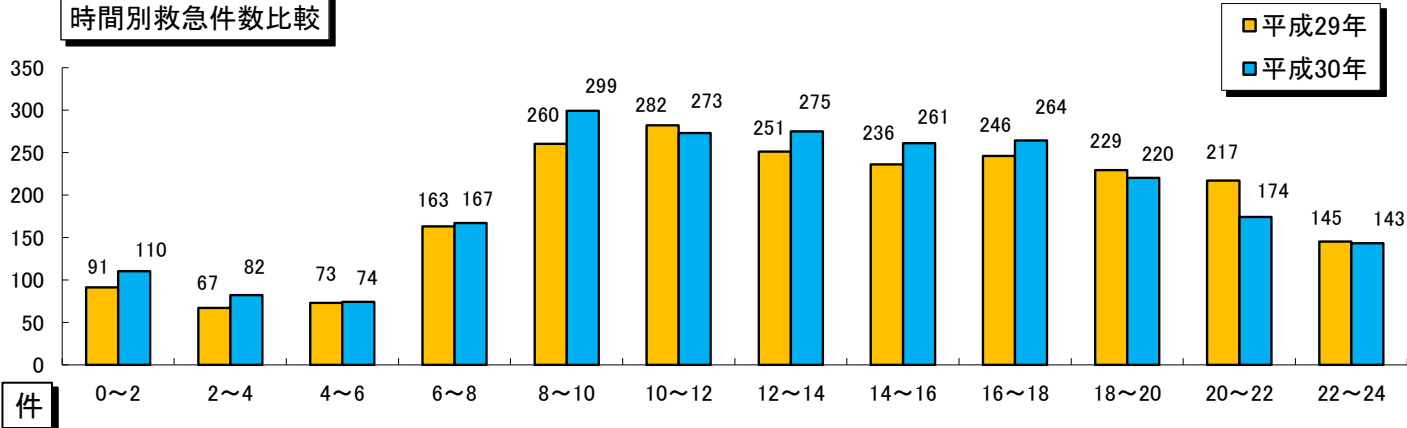
また、下の表のとおり、月別の救急出場件数は、7月の249件が最多で逆に最少は4月と5月の161件となっており、1ヶ月平均では約195件となっています。

月別救急件数比較

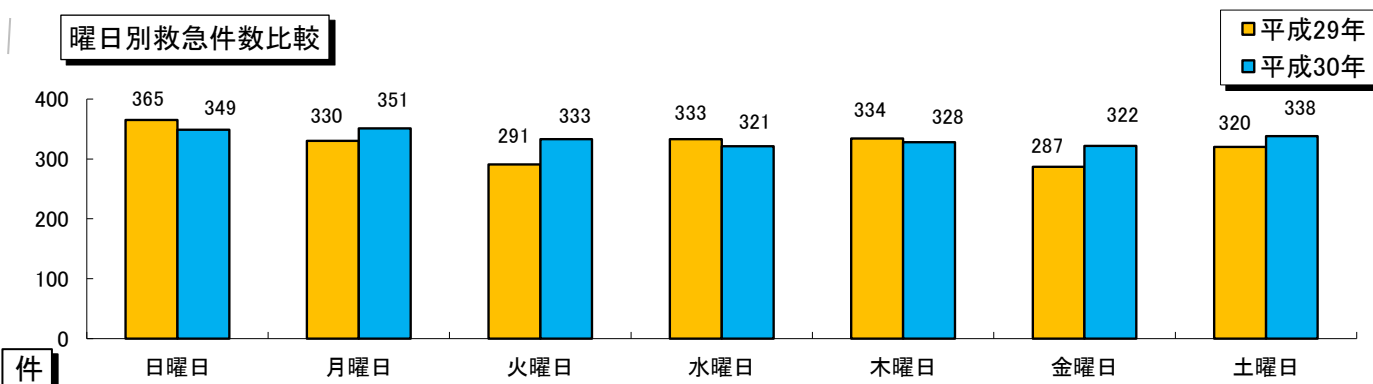


救急概要・搬送人員状況

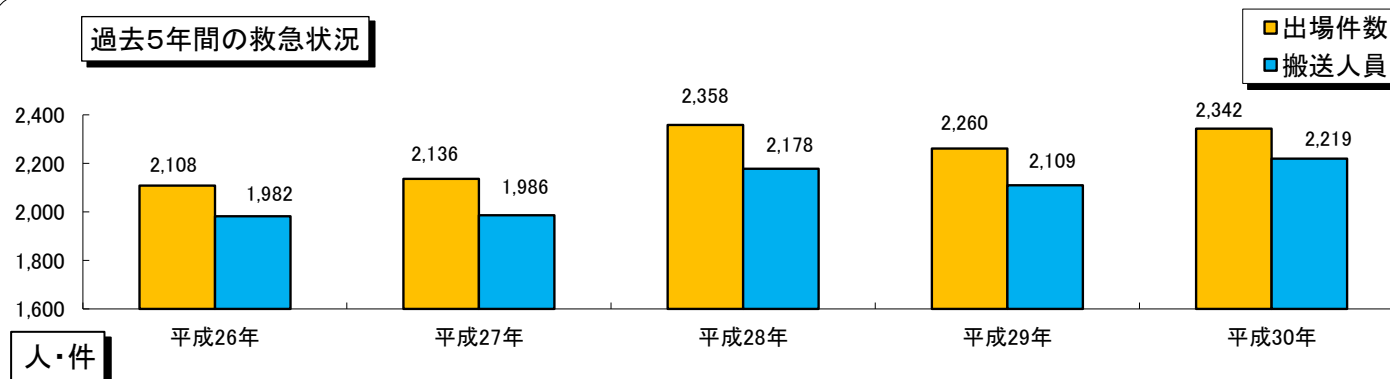
時間別救急件数比較



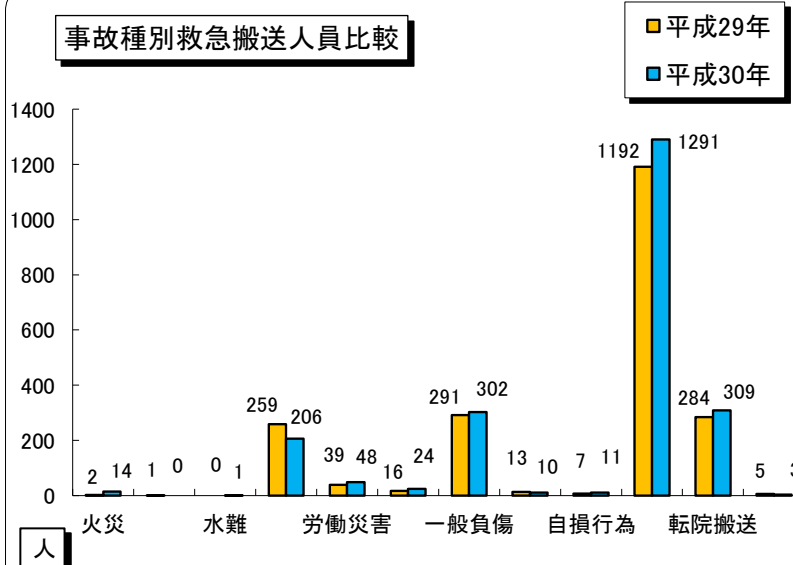
曜日別救急件数比較



過去5年間の救急状況



事故種別救急搬送人員比較



時間帯別でみると、8時～10時が出場のピークとなっており、曜日別では月曜日が最も多く出場しています。

性別をみると男性が1,139人で、女性が1,080人となっています。

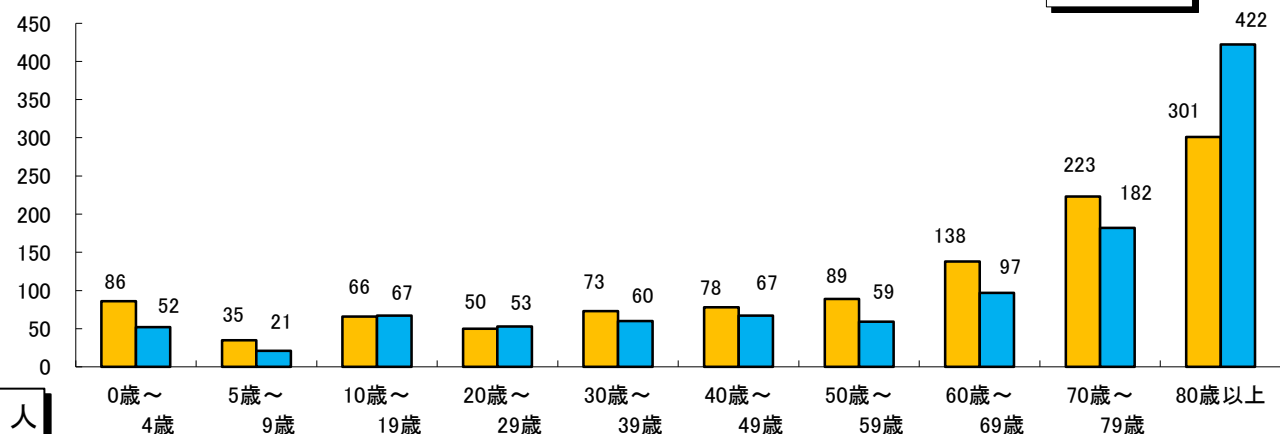
年齢別にみると、65歳以上の方が1,273人で全体の約57%を占めています。

年齢・性別搬送人員比較

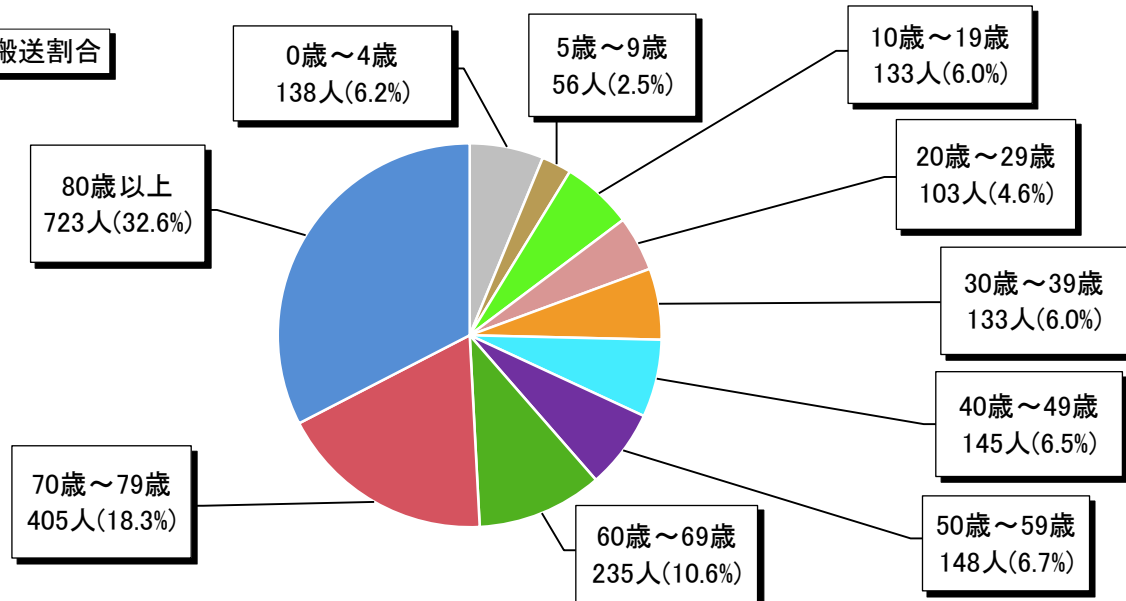
(単位：人)

性別 年齢別	平成30年			平成29年			昨年度比較		
	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計	男 性	女 性	合 計
0歳～4歳	86	52	138	93	52	145	-7	0	-7
5歳～9歳	35	21	56	32	14	46	3	7	10
10歳～19歳	66	67	133	69	55	124	-3	12	9
20歳～29歳	50	53	103	54	47	101	-4	6	2
30歳～39歳	73	60	133	66	61	127	7	-1	6
40歳～49歳	78	67	145	73	76	149	5	-9	-4
50歳～59歳	89	59	148	111	74	185	-22	-15	-37
60歳～69歳	138	97	235	160	83	243	-22	14	-8
70歳～79歳	223	182	405	191	155	346	32	27	59
80歳以上	301	422	723	305	338	643	-4	84	80
合 計	1,139	1,080	2,219	1,154	955	2,109	-15	125	110

年齢・性別搬送人員比較



年齢別搬送割合

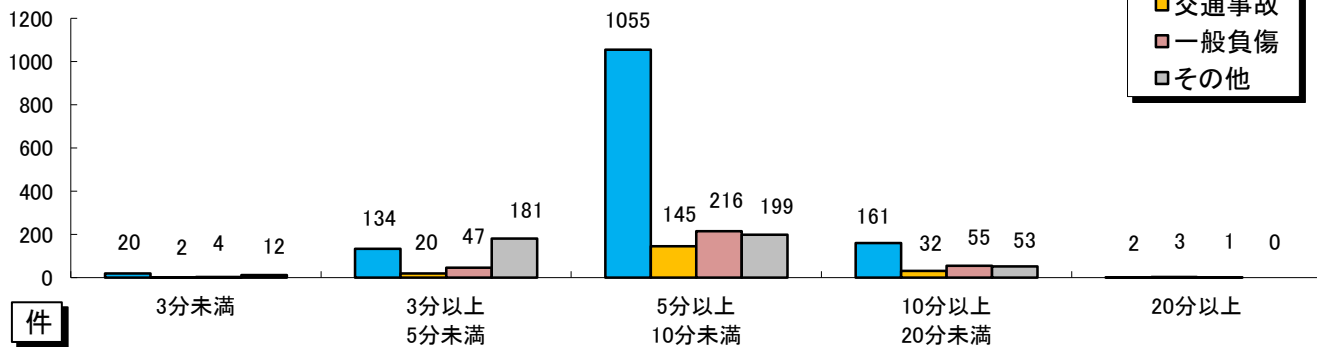


救急所要時間状況

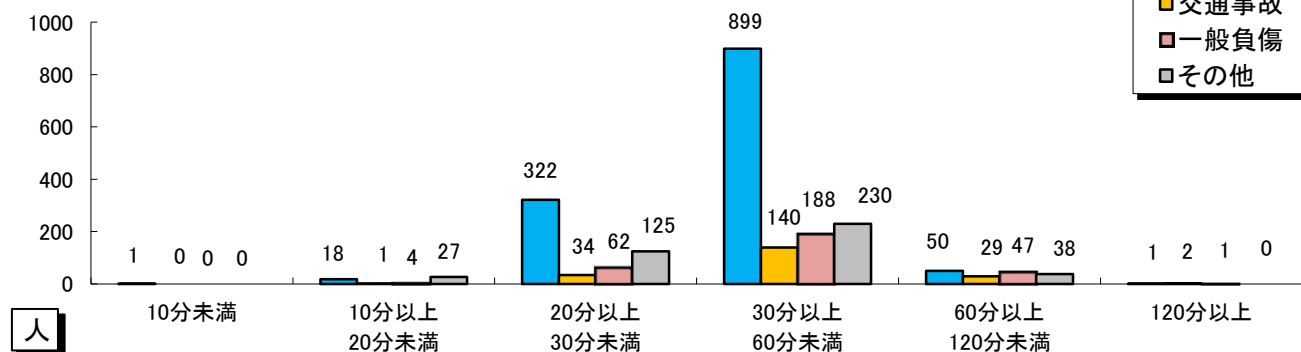
救急隊が現場到着に要した時間は、119番の入電から通報時間も含めて平均で約6.7分、医療機関へ搬送されるまでの所要時間は平均で約38.2分を要しています。

傷病者が搬送された医療機関を地域別にみると、小野市内が1,562人で全体の約70%を占め、次いで加古川市への218人、西脇市へ167人、三木市へ88人となっています。

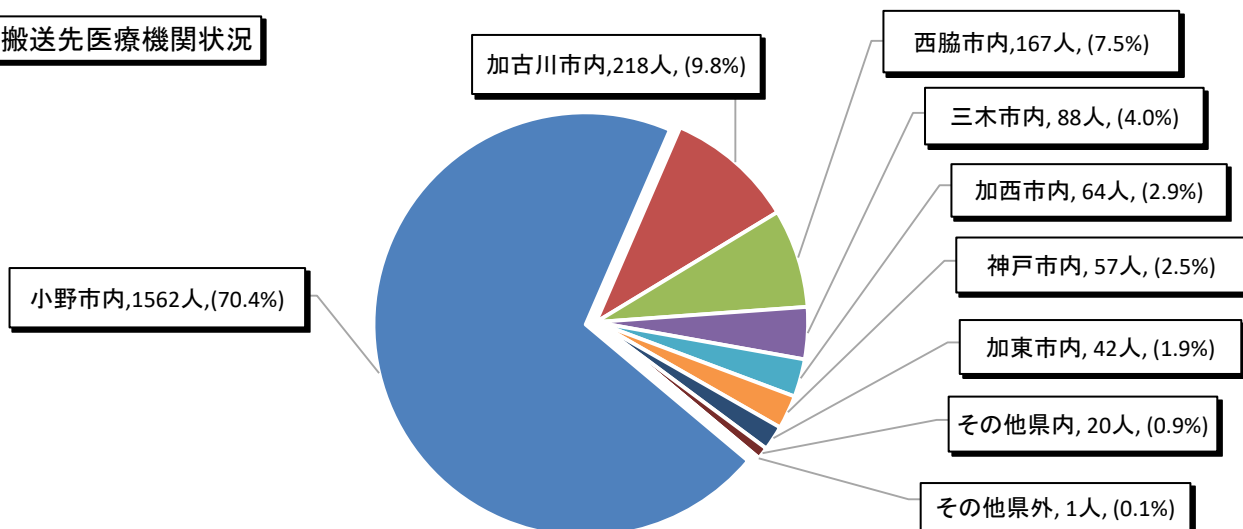
現場到着所要時間



医療機関収容所要時間別搬送人員状況



搬送先医療機関状況



事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数

(単位:人)

事故種別 搬送地別		救 急 事 故 種 別											合 計	
		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送		そ の 他
小 野 市 内		2			131	32	16	191	5	7	1,033	142	3	1,562
三 木 市		1			8	1		10		1	40	27		88
加 東 市					6		1	9			15	11		42
西 脇 市		1			23	8	3	39	1	1	68	23		167
加 西 市					3	3		15			31	12		64
加 古 川 市		2		1	30	4	2	34	3	2	85	55		218
神 戸 市		5			4		1	2	1		13	31		57
そ の 他 県 内		3			1		1	2			6	7		20
県 外												1		1
合 計		14	0	1	206	48	24	302	10	11	1,291	309	3	2,219

急病件数に対する過去5年間の比較

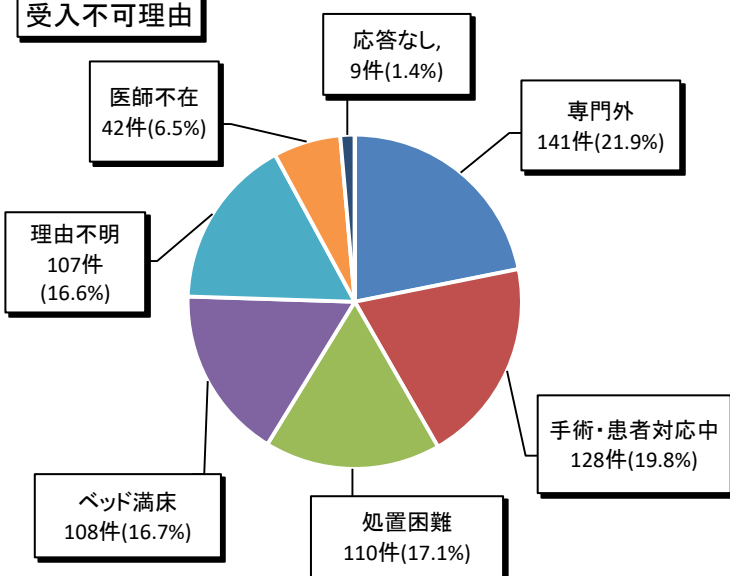
事故種別の中で最も多いのは急病です。

昨年と比較して件数は89件、搬送人員は99人増加しています。

区分	年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
急 病 件 数 (件)		1,249	1,221	1,321	1,283	1,372
全件に対する構成比		59.3%	57.2%	56.0%	56.8%	58.6%
搬 送 人 員 (人)		1,161	1,134	1,226	1,192	1,291
全搬送人員に対する構成比		58.6%	57.1%	56.3%	56.5%	58.2%

医療機関平均交渉回数・平均交渉時間・受入不可理由

受入不可理由



1件の救急事案で医療機関に受入交渉した回数は1.3件で、平均交渉時間は約4.7分かかっています。

また、1つの事案で12回の受入不可となったものが1件ありました。

なお、全体を通して受入不可理由の一番多いのは専門外の141回、次いで手術中・患者対応中の128回となっています。

救 助

平成30年 救助概要

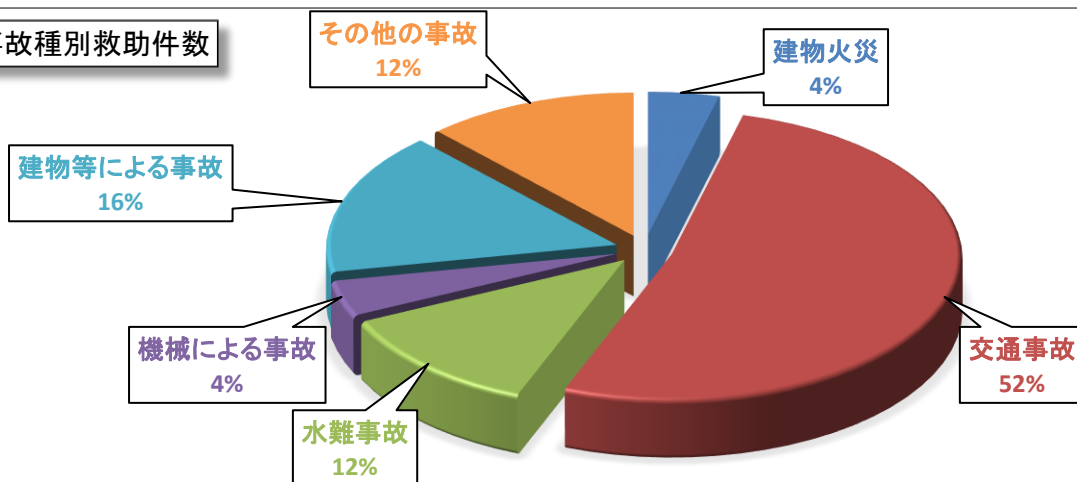
平成30年中における救助活動の状況は、救助出動件数25件、救助活動件数13件、このうち救助人員数（救助された人）16人となっています。

事故種別ごとの救助出動件数の内訳は、「建物火災」1件、「交通事故」13件、「水難事故」3件、「機械による事故」1件、「建物等による事故」4件、「その他の事故」3件となっています。ガス及び酸欠事故は昨年同様発生していません。

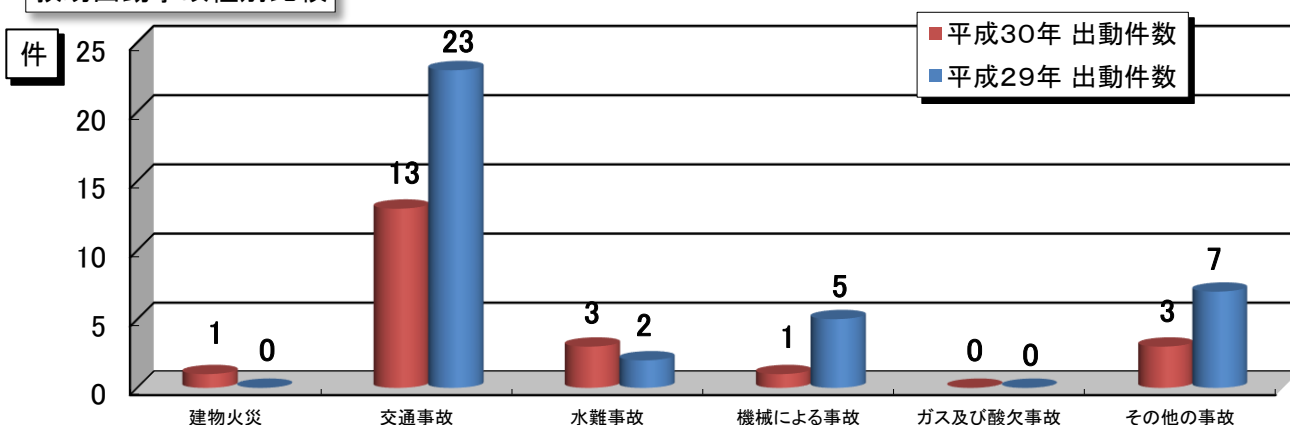
事故種別ごとの救助活動件数の内訳は、多い順から、「交通事故」8件、「建物火災」、「水難事故」、「機械による事故」、「建物等による事故」、「その他の事故」が各1件となっています。

区分 事故種別	平成30年			平成29年			前年同期比較		
	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
建物火災	1	1	1	0	0	0	1	1	1
交通事故	13	8	11	23	7	21	-10	1	-10
水難事故	3	1	1	2	1	1	1	0	0
機械による事故	1	1	1	5	5	5	-4	-4	-4
建物等による事故	4	1	1	6	3	3	-2	-2	-2
ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事故	3	1	1	7	2	2	-4	-1	-1
合 計	25	13	16	43	18	32	-18	-5	-16

事故種別救助件数



救助出動事故種別比較



救助状況前年比較

区 分		平成30年				平成29年			前年比較			
		本 署	南分署	北分署	合 計	本 署	南分署	合 計	本 署	南分署	北分署	合 計
救 助 件 数 (件)	合 計	6	14	5	25	31	12	43	-25	2	5	-18
	建物火災	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
	交通事故	0	9	4	13	17	6	23	-17	3	4	-10
	水難事故	2	0	1	3	1	1	2	1	-1	1	1
	機械による事故	1	0	0	1	3	2	5	-2	-2	0	-4
	建物等による事故	1	3	0	4	4	2	6	-3	1	0	-2
	ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の事故	1	2	0	3	6	1	7	-5	1	0	-4
要救助者数		3	6	7	16	15	17	32	-12	-11	7	-16
出動人員		45	133	56	234	253	128	381	-208	5	56	-147

月別救助発生状況

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救 助 件 数 (件)	建物火災	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	交通事故	1	2	2	0	1	0	1	0	1	3	1	1	13
	水難事故	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
	機械による事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	建物等による事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	4
	ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の事故	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
	合計	1	2	3	0	2	0	3	2	1	5	4	2	25

地区別救助発生状況

種 別		小野	河合	来住	市場	大部	下東条	山陽道	市外	合計
救 助 件 数 (件)	建物火災	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	交通事故	2	0	1	6	0	3	1	0	13
	水難事故	1	0	1	0	0	1	0	0	3
	機械による事故	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	建物等による事故	0	0	1	2	1	0	0	0	4
	ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の事故	0	0	0	2	1	0	0	0	3
	合計	4	0	3	10	3	4	1	0	25

時間別救助発生状況

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	救助種別							合計
													火災	交通	水難	機械	建物	ガス	その他	
0時～1時																				
1時～2時																				
2時～3時																				
3時～4時																				
4時～5時										1				1						1
5時～6時																				
6時～7時		1					1			1				2	1					3
7時～8時	1													1						1
8時～9時		1												1						1
9時～10時								1	1		1			1					2	3
10時～11時										1		2		2			1			3
11時～12時										1	1					1	1			2
12時～13時					1		1				1			1	1				1	3
13時～14時								1			1				1		1			2
14時～15時																				
15時～16時			1										1							1
16時～17時			1		1									2						2
17時～18時										1							1			1
18時～19時																				
19時～20時																				
20時～21時																				
21時～22時																				
22時～23時			1				1							2						2
23時～24時																				
不 明																				
合 計	1	2	3	0	2	0	3	2	1	5	4	2	1	13	3	1	4	0	3	25

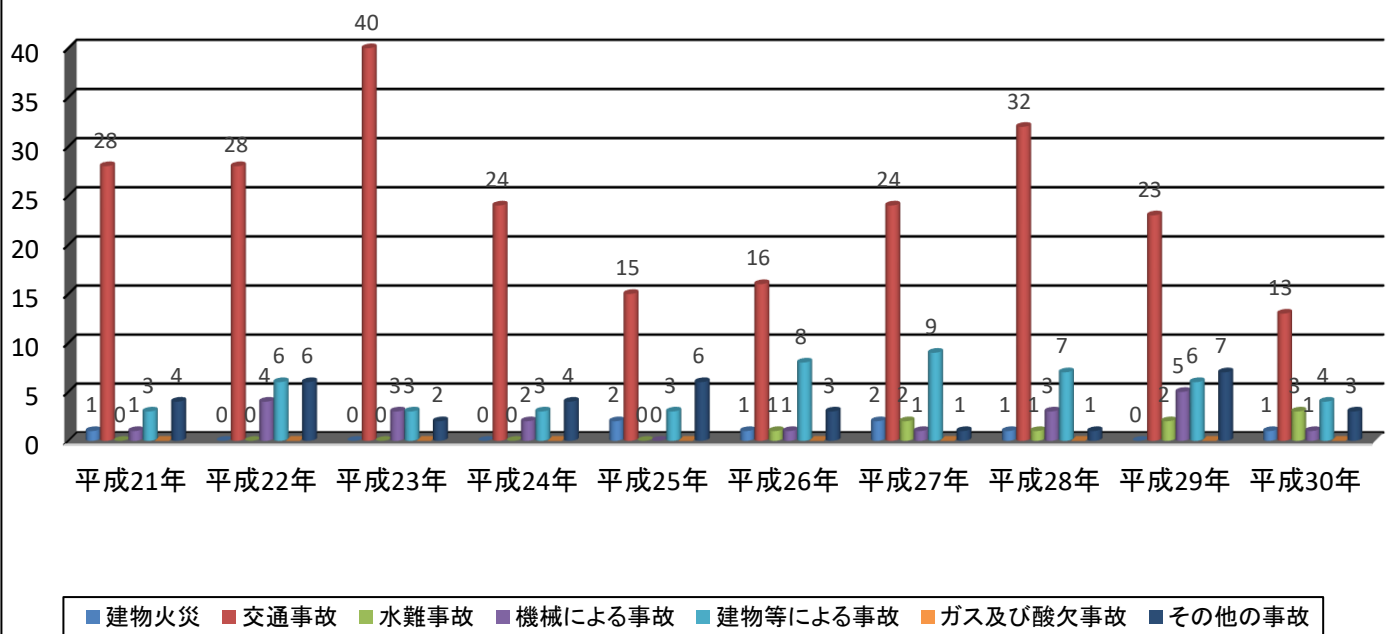
曜日別救助発生状況

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	救助種別							合計
													火災	交通	水難	機械	建物	ガス	その他	
日曜日										1	1				1		1			2
月曜日								2	1					1			1		1	3
火曜日							1												1	1
水曜日							1			2	1	1		3		1	1			5
木曜日	1	1	1		2					1			1	4	1					6
金曜日		1	1								2			3					1	4
土曜日			1				1			1		1		2	1		1			4
不 明																				0
合 計	1	2	3	0	2	0	3	2	1	5	4	2	1	13	3	1	4	0	3	25

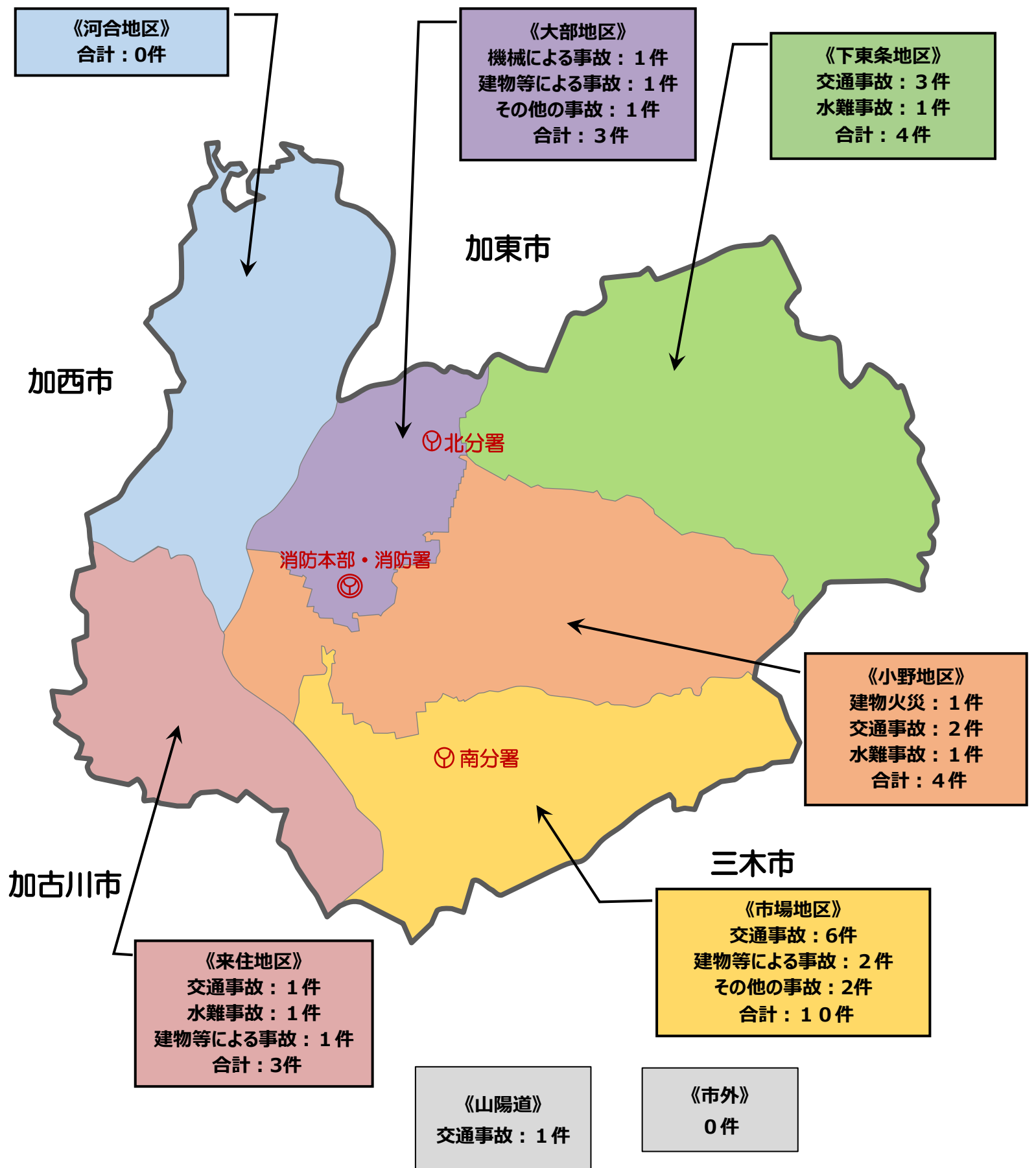
過去10年救助発生状況

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
建物火災	1	0	0	0	2	1	2	1	0	1
交通事故	28	28	40	24	15	16	24	32	23	13
水難事故	0	0	0	0	0	1	2	1	2	3
機械による事故	1	4	3	2	0	1	1	3	5	1
建物等による事故	3	6	3	3	3	8	9	7	6	4
ガス及び酸欠事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事故	4	6	2	4	6	3	1	1	7	3
合 計	37	44	48	33	26	30	39	45	43	25

過去10年救助発生状況

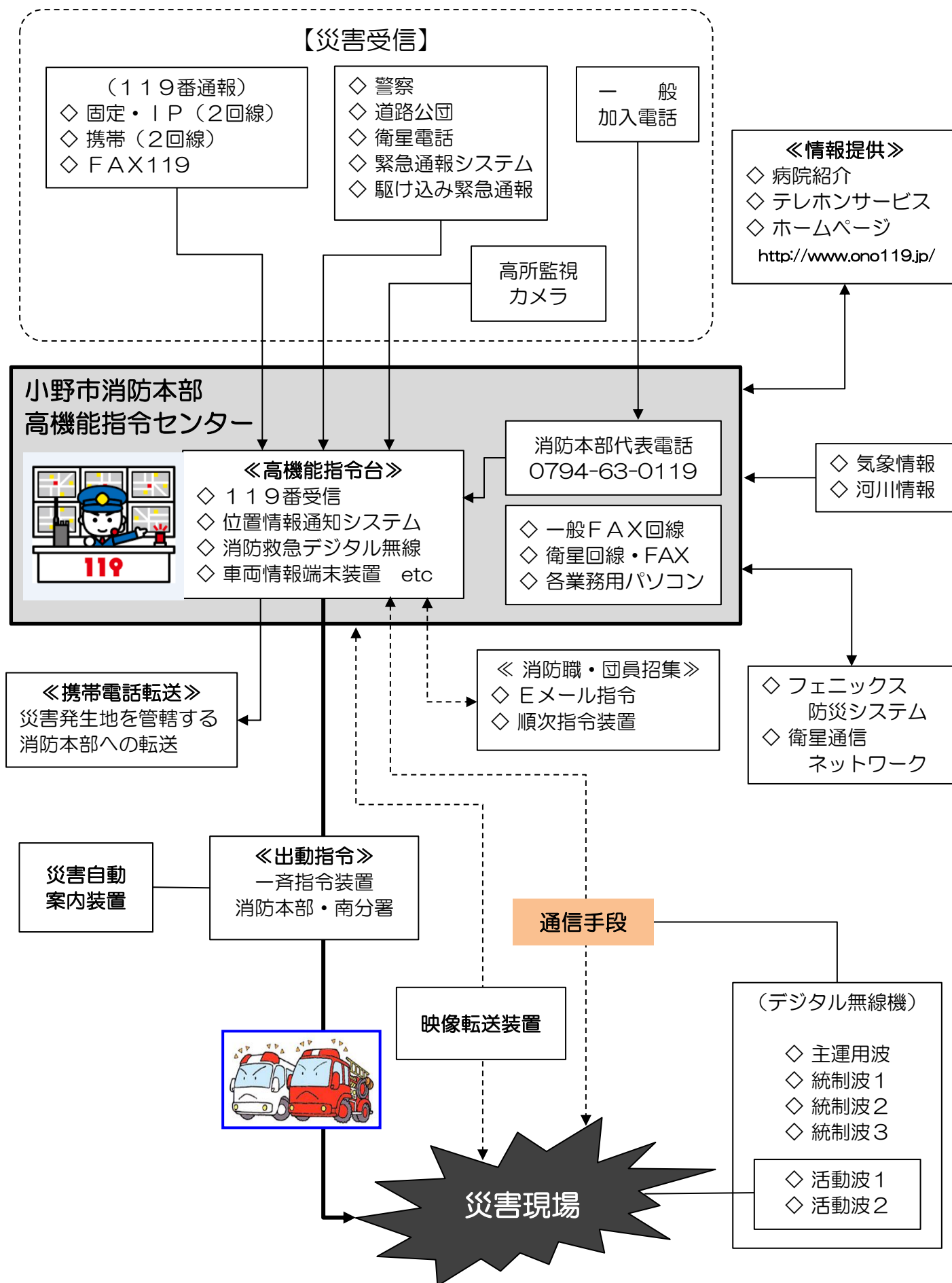


地区別救助発生状況全体図



指令

消防通信系統図



119番通報状況

平成30年中の総受信件数は、7,529件で前年(7,629件)より100件減少し、1日あたり20.6件で市民の6.5人に1人が通報したことになります。

受信状況の内訳は、火災21件(0.28%)、救急2,271件(30.16%)、救助24件(0.32%)、警戒176件(2.34%)となっており、全体の33%を占めています。

医療機関の問い合わせ件数は、2,409件(32%)でした。

また、いたずらや間違い等緊急性のない通報(試験の890件除く)が1,738件(23%)でした

区分 月別	災 害				試 験	いた ずら	間 違 い	問 い 合 せ (医療機関)	そ の 他	合 計
	火 災	救 急	救 助	警 戒						
1月	0	232	1	15	77	0	8	323	134	790
2月	2	194	2	14	59	0	2	211	121	605
3月	3	193	2	10	70	2	10	165	145	600
4月	2	158	0	8	71	0	7	179	122	547
5月	2	155	2	4	87	1	5	215	131	602
6月	1	180	0	13	78	0	4	169	122	567
7月	2	240	3	47	73	0	5	236	175	781
8月	5	221	2	15	72	0	6	201	163	685
9月	0	169	1	21	73	0	9	176	144	593
10月	3	176	5	7	92	1	6	146	149	585
11月	0	174	4	10	75	0	5	150	118	536
12月	1	179	2	12	63	0	5	238	138	638
合計	21	2,271	24	176	890	4	72	2,409	1,662	7,529
比率(%)	0.28%	30.16%	0.32%	2.34%	11.82%	0.05%	0.95%	32.00%	22.07%	100%
前年件数	22	2,141	42	176	892	5	118	2,571	1,662	7,629
前年比	-1	130	-18	0	-2	-1	-46	-162	0	-100

119番による口頭指導実施状況

項目 月別	C P R	異 物 除 去	気 道 確 保	熱 傷	創 傷	切 断 止 血	患 者 観 察	そ の 他	合 計
1月	8	1	0	2	5	1	33	2	52
2月	4	0	0	0	3	0	18	6	31
3月	5	0	0	1	3	0	35	3	47
4月	1	0	0	0	4	0	16	7	28
5月	2	1	1	0	2	3	8	1	18
6月	3	0	0	0	3	0	10	3	19
7月	8	2	0	0	3	1	21	12	47
8月	0	0	0	0	5	1	15	5	26
9月	5	0	1	0	1	0	13	3	23
10月	4	0	0	0	3	1	12	4	24
11月	3	0	0	1	4	0	13	6	27
12月	3	0	0	0	5	0	6	4	18
合計	46	4	2	4	41	7	200	56	360

情報テレホンサービス利用件数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
79	59	67	47	60	34	72	64	48	50	44	50	674

※ 情報テレホンサービスでは、医療機関情報及び災害状況案内を行っている。

消防無線一覧

(平成31年4月現在)

(1) デジタル無線設備(260MHz)

種 別 名 称	基地局	陸上移動局(携帯型)			備 考
		車載型	携帯型	卓上・可搬型	
	出力10W	出力10W	出力5W	出力10W	
活動波1	1	17	25	3 (卓上型1、 可搬型2)	統制波は3チャンネル 切替方式
活動波2					
主運用波					
統制波1					
統制波2					
統制波3					

(2) 署活系無線設備(400MHz)

種別	名称	陸上移動局(携帯型)	備 考
第1波		35	第3波は兵庫県内共通波 第4波は防災相互波
第2波		35	
第3波		35	
第4波		35	

気象状況

項目 月別	風向/風速(m/s)			気温(℃)			相対湿度(%)			雨量(mm)	
	最大瞬間風速	平均風速	平均風向	最高気温	最低気温	平均気温	最高湿度	最低湿度	平均湿度	最大時間雨量	積算雨量
1月	16.8 西南西	1.5	西	14.6	-5.7	2.7	98.8	29.9	74.4	3	39
2月	15.1 西北西	1.6	北	15.6	-5.9	2.9	98.6	20.5	68.2	4	32
3月	22.1 西南西	2.5	北	22.5	-0.8	9.3	97.7	18	68.3	20.5	180.5
4月	17.6 南南東	2.1	北	26.1	2.2	14.8	98.3	13	67	15.5	92.5
5月	20 南西	2.1	北	28.8	6.9	18.4	97.7	19.9	70	14	169.5
6月	15.7 南南東	2.2	北	31.2	13.1	22	98	16.9	76.7	25.5	168
7月	28.2 北北西	2.2	南南東	36.9	21.6	28.1	98	34.1	74.7	23.5	366.5
8月	31 南	2.4	北	36.7	18.4	28.1	97.2	26.9	70	38	135.5
9月	23.9 北北東	2.1	北	31.7	12.9	22.6	98	27.5	82.3	25	332
10月	21.7 南南東	1.7	北	28.3	7.9	17.4	98.6	31.1	75.4	7.5	54
11月	10.8 北北東	1.4	北	23.1	0.2	11.9	99.1	28.6	77.6	7.5	9.5
12月	13.6 西南西	1.6	北北東	21.6	-3.2	6.8	99.7	37.7	81.3	13.5	68.5

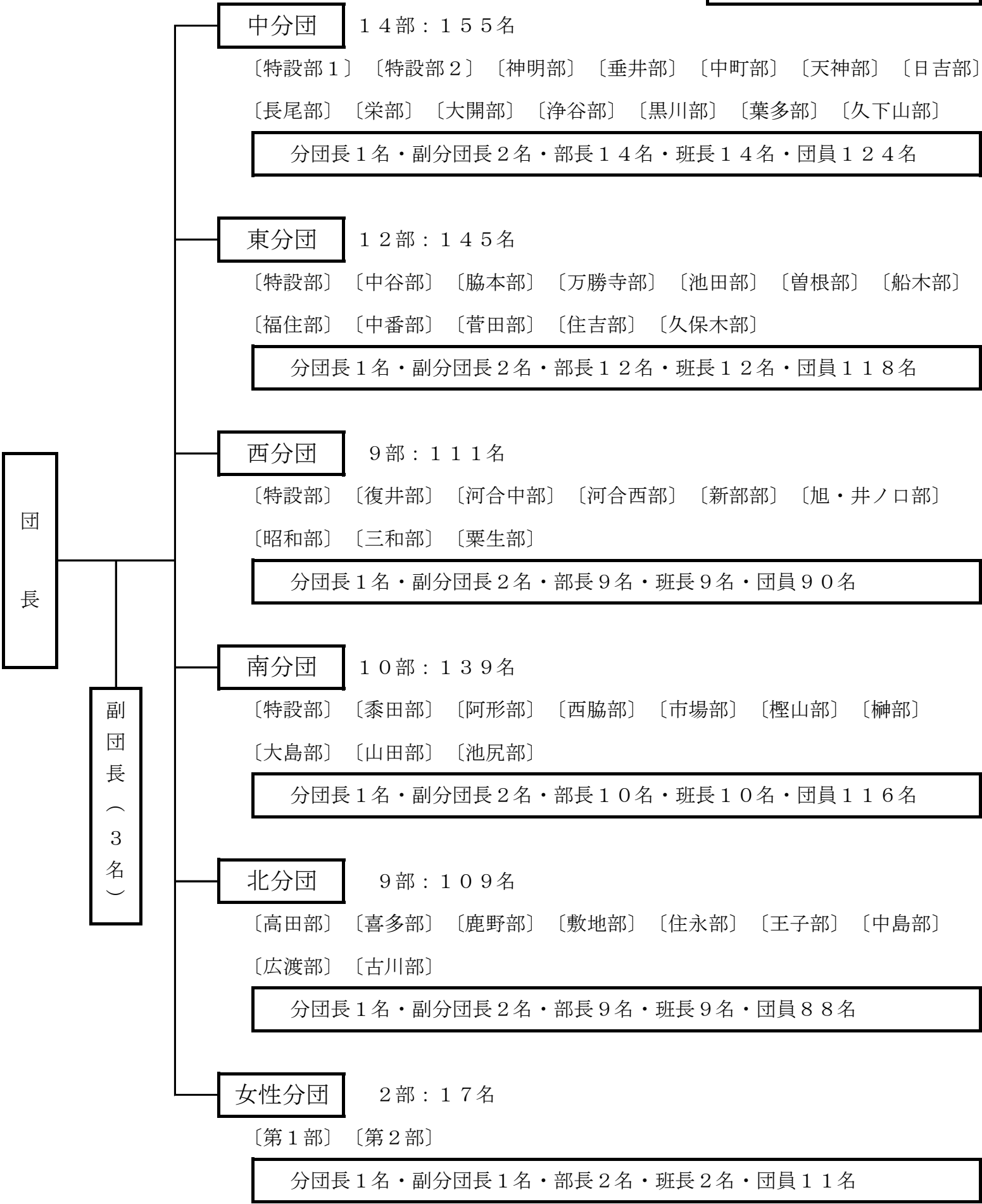
(注)小野市防災センター(小野市王子町)における観測データを使用

消防団

消防団組織

(平成31年4月1日現在)

全56部 総数680名



平成30年度消防団行事

平成30年	4月1日	消防団協力事業所表示証交付	
	4月8日	小野市消防大会	於 小野市うるおい交流館エクラ
	5月11日	分団長会議	
	6月17日	小野市消防団消防操法大会	
	7月3日	分団長会議	
	7月8日	第26回北播磨地区消防操法大会(中止)	於 兵庫県広域防災センター
	8月18日	小野まつり警戒(18日、19日)	於 大池総合運動公園周辺
	8月26日	兵庫県女性消防団員活性化大会	於 兵庫県広域防災センター
	9月18日	分団長会議	
	10月28日	ひょうご消防のつどい2018	於 新温泉町
	11月3日	幹部会議	
	11月3日	実践中継訓練	
	11月9月	秋季全国火災予防運動(9日～15日)	
	11月9月	全国女性消防団員活性化大会	於 滋賀県
	11月18日	小学校区地域教育防災訓練	於 来住小学校
	12月2日	第5回小野ハーフマラソン2018警備	
	12月29日	年末警戒(29日～30日)	
平成31年	1月11日	分団長会議	
	1月20日	重要文化財防火訓練	於 浄土寺
	1～3月	火災予防特別警戒(1月～3月)	市内全域(各分団)
	1～3月	各地区消防水利点検	市内全域(各分団)
	2月10日	兵庫県女性消防団員技術研修会	於 兵庫県広域防災センター
	3月1日	春季全国火災予防運動(1日～7日)	

＊ 消防水利(消火栓・防火水槽)点検 年2回実施 ・各部定期訓練 毎月実施

消防力の現況

(平成31年4月1日現在)

組 織		人 員	消防ポンプ自動車	軽四積載車	小型動力ポンプ
消 防 団		680	6	49	54
構 成 内 容	団 本 部	4	1		
	中 分 団	155	2	12	14
	東 分 団	145	1	11	12
	西 分 団	111	1	8	9
	南 分 団	139	1	9	10
	北 分 団	109		9	9
	女 性 分 団	17			

消防団員出動状況

(平成30年度中)

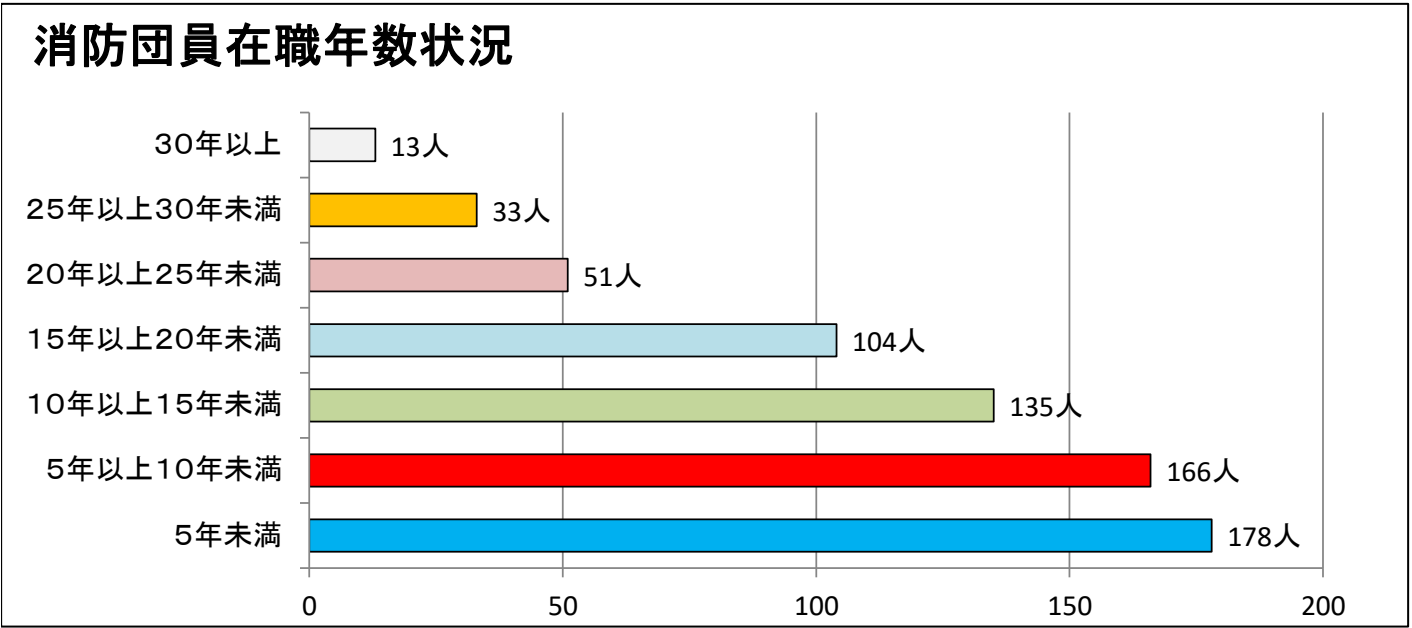
区分 \ 出動種別	各種災害出動	演習訓練	特別警戒	水利調査	その他	ういたらずらの等誤報・誤認	合計
出動回数	12	931	253	117	1,084	0	2,397
前年出動回数	12	31	22	67	99	0	231
出動延人員	733	2,795	7,959	500	6,784	0	18,771
前年出動延人員	577	2,236	1,405	575	7,096	0	11,889

消防団員の在職年数状況

(平成31年4月1日現在)

在職年数	人数(うち女性)
5年未満	178 (7)
5年以上10年未満	166 (0)
10年以上15年未満	135 (3)
15年以上20年未満	104 (7)
20年以上25年未満	51
25年以上30年未満	33
30年以上	13
合計	680 (17)

消防団員在職年数状況



年齢別消防団員数

(平成31年4月1日現在)

階級 年齢	小 計	うち女性	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	年齢合計
18歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19歳	1	1	0	0	0	0	0	0	1	19
20歳	2	2	0	0	0	0	0	0	2	40
21歳	1	0	0	0	0	0	1	0	0	21
22歳	2	0	0	0	0	0	0	0	2	44
23歳	1	1	0	0	0	0	0	0	1	23
24歳	3	0	0	0	0	0	0	0	3	72
25歳	7	0	0	0	0	0	1	1	5	175
26歳	11	0	0	0	0	0	0	2	9	286
27歳	16	0	0	0	0	0	3	1	12	432
28歳	16	1	0	0	0	0	2	2	12	448
29歳	21	0	0	0	0	0	2	3	16	609
30歳	19	1	0	0	0	0	1	3	15	570
31歳	27	0	0	0	0	0	4	2	21	837
32歳	29	0	0	0	0	1	3	3	22	928
33歳	38	1	0	0	0	1	4	7	26	1,254
34歳	32	1	0	0	0	0	0	7	25	1,088
35歳	38	0	0	0	1	0	3	3	31	1,330
36歳	34	0	0	0	0	0	4	2	28	1,224
37歳	35	0	0	0	0	0	6	1	28	1,295
38歳	40	0	0	0	0	1	3	3	33	1,520
39歳	27	0	0	0	0	0	5	3	19	1,053
40歳	30	0	0	0	0	1	3	3	23	1,200
41歳	32	0	0	0	0	0	2	1	29	1,312
42歳	34	0	0	0	0	0	2	1	31	1,428
43歳	23	0	0	0	0	1	0	2	20	989
44歳	25	0	0	0	0	1	1	0	23	1,100
45歳	20	1	0	0	0	2	2	1	15	900
46歳	23	2	0	0	2	1	1	1	18	1,058
47歳	17	0	0	0	0	0	0	0	17	799
48歳	15	0	0	0	0	0	2	1	12	720
49歳	11	1	0	0	2	2	0	0	7	539
50歳	5	0	0	0	1	0	0	0	4	250
51歳	3	0	0	0	0	0	0	0	3	153
52歳	4	0	0	1	0	0	0	0	3	208
53歳	6	3	0	0	0	0	0	1	5	318
54歳	4	0	0	0	0	0	0	0	4	216
55歳	2	0	0	0	0	0	0	0	2	110
56歳	3	0	0	1	0	0	0	1	1	168
57歳	4	0	0	1	0	0	1	0	2	228
58歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	60
61歳	4	1	1	0	0	0	0	0	3	244
62歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	62
63歳	2	0	0	0	0	0	0	0	2	126
64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65歳以上	11	1	0	0	0	0	0	1	10	758
合 計	680	17	1	3	6	11	56	56	547	26,214
平 均		36.1	61.0	55.0	45.8	42.2	36.1	34.8	37.5	38.6

消防団員等公務災害発生状況

(平成30年度)

区 分 災害種別	階 級 別						傷病程度					
	正・副団長	正・副分団長	部長	班長	団員	消防作業従事者	一週間未満	一週間～二週間	二週間～一ヶ月	一ヶ月～三ヶ月	三ヶ月以上	死亡
消火活動中												
救急活動中												
水防活動中												
消防訓練中												
特別警戒中												
その他		1			1		1				1	
合 計	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0

消防団表彰状況

種 別		年度別	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度
消防庁長官	団 体						
	個 人		1	1	1	1	1
日本消防協会	団 体			1			
	個 人		3	3	4	4	6
日本消防協会(特別)	団 体						
	個 人						
兵庫県知事	団 体						
	個 人		3	5	5	6	4
兵庫県消防協会	団 体						
	個 人		20	19	18	22	17
北播消防協議会	団 体		1	1	1	1	1
	個 人		15	15	15	15	15
小野市長	個 人		10	11	7	6	4
小野市消防団長	団 体		10	9	10	10	10
	個 人		47	52	42	62	50

消防自動車の現況

《特設部別》

(平成31年3月31日現在)

種別	分 団 別	車 番	車 種	年 式	級 別	排気量	登録年月日
消 自 防 ポ ン プ 車	団本部	800 そ 4428	いすゞ	平成27年	A-2	2.99	平成27年12月10日
	中分団特設部	800 す 9295	日 野	平成18年	A-2	4.00	平成18年 3月22日
		800 そ 235	トヨタ	平成24年	A-2	4.00	平成24年11月13日
	東分団特設部	800 そ 1602	トヨタ	平成25年	A-2	4.01	平成25年11月11日
	西分団特設部	800 さ 7028	日 野	平成12年	A-2	4.89	平成12年12月12日
	南分団特設部	800 す 7970	日 野	平成17年	A-2	4.00	平成17年 9月 2日

《分団別》

(平成31年3月31日現在)

種別	分団別	部 別	車 番	車 種	年 式	登録年月日
小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車 (軽 四)	中分団	神 明 部	880 あ 225	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		垂 井 部	880 あ 2568	三 菱	平成24年	平成24年 9月27日
		中 町 部	880 あ 2913	三 菱	平成25年	平成25年10月 8日
		天 神 部	80 あ 1643	三 菱	平成 9年	平成 9年10月 7日
		日 吉 部	880 あ 2147	三 菱	平成23年	平成23年 7月22日
		長 尾 部	880 あ 866	三 菱	平成19年	平成19年 9月14日
		栄 部	880 あ 227	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		大 開 部	880 あ 2912	三 菱	平成25年	平成25年10月 8日
		浄 谷 部	80 あ 2909	三 菱	平成15年	平成15年 8月28日
		黒 川 部	80 あ 1285	スバル	平成 7年	平成 7年10月19日
		葉 多 部	880 あ 3274	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		久 下 山 部	880 あ 1227	スバル	平成20年	平成20年 9月 8日
	東分団	中 谷 部	880 あ 865	三 菱	平成19年	平成19年 9月14日
		脇 本 部	80 あ 2157	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		万 勝 寺 部	80 あ 2643	スバル	平成14年	平成14年 8月 8日
		池 田 部	80 あ 2159	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		曾 根 部	80 あ 1466	スバル	平成 8年	平成 8年12月 5日
		船 木 部	80 あ 1786	スバル	平成10年	平成10年 7月23日
		福 住 部	880 あ 518	三 菱	平成18年	平成18年 8月25日
		中 番 部	80 あ 1785	スバル	平成10年	平成10年 7月23日
		菅 田 部	80 あ 1970	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		住 吉 部	80 あ 1968	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		久 保 木 部	880 あ 2567	三 菱	平成24年	平成24年 9月27日
		復 井 部	880 あ 4702	三 菱	平成30年	平成30年 9月 6日
	西分団	河 合 中 部	80 あ 2158	三 菱	平成12年	平成12年 8月28日
		河 合 西 部	880 あ 3941	ダイハツ	平成28年	平成28年 9月16日
		新 部 部	80 あ 2644	スバル	平成14年	平成14年 8月 8日
		旭・井ノ口部	880 あ 1825	三 菱	平成22年	平成22年 7月13日
		昭 和 部	80 あ 1644	三 菱	平成 9年	平成 9年10月 7日
		三 和 部	80 あ 3218	スズキ	平成16年	平成16年 9月21日
		栗 生 部	880 あ 4703	三 菱	平成30年	平成30年 9月 6日
		黍 田 部	880 あ 1226	スバル	平成20年	平成20年 9月 8日
	南分団	阿 形 部	80 あ 1967	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		西 脇 部	80 あ 1969	スバル	平成11年	平成11年10月19日
		市 場 部	80 あ 1395	スバル	平成 8年	平成 8年 7月16日
		檜 山 部	880 あ 519	三 菱	平成18年	平成18年 8月25日
		榊 部	880 あ 1824	三 菱	平成22年	平成22年 7月13日
		大 島 部	880 あ 3943	ダイハツ	平成28年	平成28年 9月16日
		山 田 部	880 あ 226	スズキ	平成17年	平成17年 9月29日
		池 尻 部	80 あ 3219	スズキ	平成16年	平成16年 9月21日
	北分団	高 田 部	80 あ 2910	三 菱	平成15年	平成15年 8月28日
		喜 多 部	880 あ 2148	三 菱	平成23年	平成23年 7月22日
		鹿 野 部	880 あ 3273	ダイハツ	平成26年	平成26年10月28日
		敷 地 部	880 あ 1565	スバル	平成21年	平成21年 9月11日
		住 永 部	880 あ 4355	ダイハツ	平成29年	平成29年 10月19日
		王 子 部	880 あ 3538	三 菱	平成27年	平成27年 7月23日
		中 島 部	880 あ 3537	三 菱	平成27年	平成27年 7月23日
		広 渡 部	880 あ 4356	ダイハツ	平成29年	平成29年 10月19日
		古 川 部	880 あ 1566	スバル	平成21年	平成21年 9月11日

小野市消防の沿革

1954年(昭和29年)

- 12月 6か町村(小野町、河合村、来住村、市場村、大部村、下東条村)の合併により、小野市が発足
同時に『小野市連合消防団』(1,375名)を組織

1956年(昭和31年)

- 4月 加東郡社町のうち、久保木及び古川部落を編入し、市街地の3分団を統合し、特設分団(分団員50名)を発足
10月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1957年(昭和32年)

- 5月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1960年(昭和35年)

- 4月 『小野市連合消防団』の名称を『小野市消防団』に改める。

1963年(昭和38年)

- 4月 榊分団を新設
10月 水槽付消防自動車を配備

1965年(昭和40年)

- 4月 消防本部及び消防署を設置
大開分団を新設し、団員1,414名となる。
12月 三木市加佐字草加野及び三木市細川町脇川(通称草加野)の両地区の消防行政を、小野市消防本部が受託する。

1966年(昭和41年)

- 12月 救急自動車(A級)を配備し、救急業務を開始

1968年(昭和43年)

- 4月 消防団員の定員を1,144名とする。
東部特設分団(小田)を新設し、それに伴い消防ポンプ自動車(A2級)を配備
5月 消防ポンプ自動車(BD-1型)を受納

1970年(昭和45年)

- 2月 日本消防協会から優良消防団として、表彰旗を受ける。
4月 消防団の機構を改正し、副団長13名を3名に、56分団を6分団56部に編成
11月 東分団特設部詰所及び車庫を新築

1971年(昭和46年)

- 4月 化学消防自動車(I型)を配備
6月 消防庁舎新築

1972年(昭和47年)

- 1月 西分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
- 4月 特設分団を中分団特設部(2部)に改める。
また、南分団来住部、同下来住部を新たに南分団特設部として設置、これにより消防団機構は、5分団56部となり、消防団員定員を1,060名とする。
- 11月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備

1973年(昭和48年)

- 10月 兵庫県危険物安全協会小野支部を改組し、新たに小野市防火協会を設立

1974年(昭和49年)

- 1月 救急自動車(B3型)を配備(更新)
- 3月 東分団特設部、小田上部、小田下部をもって新たに東分団特設部を設置
消防団機構は、5分団54部となる。

1975年(昭和50年)

- 3月 消防ポンプ自動車(A2級)を配備

1977年(昭和52年)

- 2月 水槽付消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
車庫の寄贈を受ける。
- 11月 救急自動車(RH42VB型)の寄贈を受ける。

1979年(昭和54年)

- 1月 消防本部にC級救急指令装置を設置
- 2月 サイレン吹鳴制御装置(本部に親局、市内9か所に子局)を新設
- 11月 普通貨物自動車を配備
消防ポンプ自動車(BD-I級)を受納

1980年(昭和55年)

- 3月 指令車を配備

1981年(昭和56年)

- 3月 中分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備(更新)
- 12月 救急車(RH45VB型)の寄贈を受ける。

1982年(昭和57年)

- 3月 消防署の車庫を増築(市役所第4庁舎)
- 10月 東分団に消防ポンプ自動車(A2級)を配備
- 12月 西分団特設部詰所及び車庫新築

1983年(昭和58年)

- 12月 東分団特設部詰所増改築

1984年(昭和59年)

- 3月 20m級屈折はしご付消防ポンプ自動車(A1級)を配備
- 4月 消防団員の定員を1,044名とする

1985年(昭和60年)

2月 化学消防自動車(Ⅱ型)を配備(更新)

1986年(昭和61年)

4月 消防本部に水防倉庫設置

5月 殺菌灯付ロッカー(救急用)の寄贈を受ける。

10月 県内共通波基地局無線設備整備

1987年(昭和62年)

6月 広報車の寄贈を受ける。

10月 救急車の寄贈を受ける。
気象観測装置整備

1988年(昭和63年)

1月 西分団に消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備(更新)

2月 消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

3月 消防訓を制定

4月 指令車を配備(更新)

8月 小型動力ポンプ積載車を配備

11月 南分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1989年(平成元年)

1月 水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を配備(更新)

8月 普通貨物自動車を配備(更新)

11月 救急車(2B型)の寄贈を受ける。

12月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1990年(平成2年)

3月 消防緊急情報システム(I型)を配置

1991年(平成3年)

3月 全国共通波(第1波)基地局設備整備
消防無線用パンザーマスト25mを新設

1992年(平成4年)

2月 南分署庁舎新築(延678.85㎡)

3月 署所端末装置及び消防無線(救急波)整備事業完了
救急自動車(2B型)の寄贈を受ける。

1993年(平成5年)

1月 河合水防倉庫新築

3月 消防庁舎改修工事完成

南分署に小型動力ポンプ付水槽車兼薬液搬送車を配備、薬液タンク庫(17.5㎡)を増築、化学消火薬剤10klを備蓄

8月 消防ポンプ自動車(CD-I型)の寄贈を受ける。

11月 中分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

1994年(平成6年)

3月 準高規格救急車を配備

1995年(平成7年)

2月 東分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

3月 消防緊急通信指令施設(地区等検索装置)整備事業完了
市町村波基地局消防無線設備を整備(更新)

12月 救助工作車(II型)を配備

1996年(平成8年)

12月 高規格救急自動車を配備、運用開始(準高規格救急自動車の更新)
県内共通波基地局消防無線設備を整備(更新)

1997年(平成9年)

3月 耐震性貯水槽飲料水兼用(100m³型)を整備

6月 査察車を配備

7月 指令車を配備(更新)

1998年(平成10年)

1月 全国共通波(第1、2波)基地局消防無線設備整備

3月 化学消防自動車(II型)を配備(更新)

10月 小型動力ポンプ積載車を配備(更新)
指揮広報車を配備

12月 コミュニティー消防センター(中分団特設部詰所併設)新築
南分団特設部詰所及び車庫改装

1999年(平成11年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車の更新)

4月 消防団員の定員を874名とする。

2000年(平成12年)

12月 西分団に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2001年(平成13年)

2月 高規格救急自動車を配備(準高規格救急自動車を更新)

4月 消防団女性分団が発足

9月 屈折はしご自動車(20m級)を配備(更新)

2002年(平成14年)

8月 総合気象観測装置整備(更新)

9月 消防職・団員召集システム整備

2004年(平成16年)

4月 久保木部を北分団から東分団に編成替えする。

12月 消防資機材搬送車を配備(更新)

2005年(平成17年)

- 2月 南分署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)
- 3月 下東条地域防災拠点施設(東分団特設部詰所)建設
- 9月 南分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)が配備(更新)

2006年(平成18年)

- 3月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2007年(平成19年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 10月 小野ライオンズクラブから消防広報車の寄贈を受ける。

2008年(平成20年)

- 2月 消防署・水槽付消防ポンプ自動車を配備(更新)

2010年(平成22年)

- 2月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 3月 通信指令システム更新(位置情報システム導入)
- 3月 消防庁舎耐震化
- 4月 消防団員の定員を700名とする。

2011年(平成23年)

- 5月 査察車を配備(更新)
- 10月 消防ポンプ自動車を更新し小型動力ポンプ付積載車(B2ポンプ)を配備

2012年(平成24年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(更新)
- 4月 消防救急デジタル無線 電波伝搬調査
- 11月 中分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2013年(平成25年)

- 1月 消防救急デジタル無線 基本・実施設計
- 3月 小野市防災センター起工
- 7月 軽四資機材積載車を配備(更新)
- 11月 東分団特設部に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配備(更新)

2014年(平成26年)

- 4月 小野市防災センター開設
- 4月 消防救急デジタル無線 整備
- 4月 臨時北部救急拠点開設

2015年(平成27年)

- 2月 救助工作車(II型)を配備(更新)
- 4月 小野市消防本部発足50周年
- 12月 総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の無償貸与を受ける。

2016年(平成28年)

- 3月 小野市消防本部発足50周年誌「小野消防の軌跡」発刊
- 5月 35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配備(更新)
- 9月 災害対応特殊水槽車II型を配備(更新)

2017年(平成29年)

- 3月 高規格救急自動車を配備(増車)
- 3月 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配備(更新)

2018年(平成30年)

- 4月 北分署庁舎新築(延324㎡)
- 12月 日本消防協会より防災活動車の寄贈を受ける

2019年(平成31年)

- 4月 南分署改修工事

消防応援協定の締結状況

(平成31年4月1日現在)

締結年月日	内 容
昭和52年 2月 1日	陸上自衛隊青野原駐とん地と小野・加東・加西各消防署・団との申し合わせ
平成20年 3月 5日	加古川市と消防相互応援に関する協定
平成23年 3月14日	三木市と消防相互応援に関する協定
平成23年 5月13日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定
平成25年10月23日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定
平成30年 4月 1日	山陽自動車道消防相互応援に関する協定

《全国統一防火標語》

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心

《小野市統一防火標語》

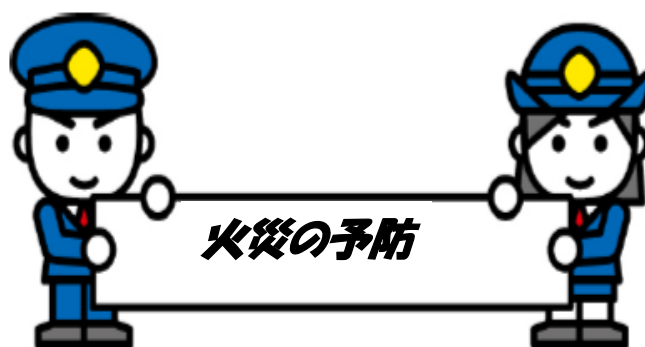
火の始末 自分の目と手で 最後まで

《林野庁統一標語》

忘れない 豊かな森と 火の怖さ

《危険物安全週間推進標語》

無事故への 構え一分の 隙も無く



平成30年版 消防年報

発行年月日 令和元年7月

編集発行 小野市消防本部

兵庫県小野市王子町809

電 話 (0794) 63-0119

F A X (0794) 63-7199

Eメール : syobo@city.ono.hyogo.jp

小野市ホームページ : <https://www.city.ono.hyogo.jp>